

意見招請を実施する案件

【意見招請番号：4】

案件名	延滞債権（和解者）回収業務
-----	---------------

直近の調達内容

契約件名	平成 29 年度・平成 30 年度延滞債権（和解者）回収業務
調達方式	企画競争
入札公告日	平成 29 年 9 月 1 日（金）
競争参加資格	<p>本件の企画競争に参加できる者は、以下の条件をすべて満たしている者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成 28・29・30 年度文部科学省競争参加資格（全省庁統一資格）において、「役務の提供等」の「A」、「B」又は「C」の等級に格付けされた競争参加資格を有する者であること。なお、当該競争参加資格については、平成 29 年 3 月 31 日付け号外政府調達第 61 号の官報の競争参加資格の資格に関する公示の別表に掲げる申請受付窓口において随時受け付けている。 (2) 予算決算及び会計令第 70 条及び第 71 条の規定に該当しないこと。なお、未成年者、被保佐人、被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同 70 条中、特別の理由がある場合に該当する。 (3) 本機構理事長から取引停止を受けている期間中でないこと。 (4) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（平成 3 年法律第 77 号）に規定するところの暴力団及びその構成員、準構成員またはその関係者でないこと。 (5) 「債権管理回収業に関する特別措置法（サービサー法）」に基づく法務大臣の許可を受けた債権管理回収会社（サービサー）であること。 (6) 個人情報の取り扱いについて適切な保護措置を講ずる体制を整備していること（プライバシーマークの認定を受けている等）。 (7) 毎月 1 回の定例会議の実施及び緊急を要する場合の連絡を鑑み、本社・支店・事業所等が関東甲信越地域にあること。 (8) 業務運営に際して必要に応じた事前準備・事業実施・事後管理が可能であり、かつ本機構の担当部署と緊密に連携した行動が可能であること。 (9) 「情報等の守秘に関する覚書」を作成し、守秘内容を明確にできること。 (10) 在職時のみならず、退職後の責任を明記した「秘密保持及び個人情報保護に関する誓約書」を提出した者を本業務の従事者とすることができること。 (11) 業務従事者は、債権回収会社での債権回収業務の通算従事期間が 1 年以上の者（委託業者が同等と認定する者を含む。）を充てることができること。 (12) 関係法規等の教育体制の開示、またシステムのセキュリティ対策について開示ができること。
提出書類及び提出期限	<ol style="list-style-type: none"> (1) 業務委託説明書及び企画提案書作成要領に基づく企画提案書 10 部 （うち正本 1 部） (2) 文部科学省競争参加資格（全省庁統一資格）の写し 1 部 (3) 債権管理回収業許可書の写し 1 部 (4) 個人情報の取り扱いについて適切な保護措置を講ずる体制を整備していることを証する書類（プライバシーマークの認定を受けている場合は、その認定証の写で可）

	1 部
	平成 29 年 9 月 22 日 (金) 午後 5 時
審査会開催日	平成 29 年 9 月 26 日 (火)
業務履行期間	平成 29 年 10 月 1 日 (日) ～ 平成 31 年 6 月 30 日 (日)

業務内容等説明書

1. 委託業務

独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）から業務委託を受けた要返還者（奨学金の貸与を受けその奨学金を返還する義務を有する者）及び、その連帯保証人並びに保証人に対する延滞債権に係る債権管理回収業務

2. 委託対象

次の（１）及び（２）に該当するもの。

- （１）和解者（機構と要返還者が裁判手続において訴訟上の和解が成立しているもの※）
- （２）延滞 1 か月目から 4 か月目のもの

※民事訴訟法第 275 条の 2 による和解に代わる決定、民事調停法第 17 条による調停に代わる決定を受けたものを含む。

3. 委託件数

毎月 700 件程度

（返還状況等の影響により委託件数に 25%程度の増減あり）

4. 実施期間

平成 29 年 10 月～平成 31 年 6 月において次のとおり実施する。

委託期間については、委託開始月を含め 4 ヶ月間とする（延滞解消・委託中止等の場合を除く）。

- （１）平成 29 年 10 月委託開始分は平成 29 年 10 月中旬から平成 30 年 1 月末日の間（※）
- （２）平成 29 年 11 月委託開始分は平成 29 年 11 月中旬から平成 30 年 2 月末日の間
- （３）平成 29 年 12 月委託開始分は平成 29 年 12 月中旬から平成 30 年 3 月末日の間
- （４）平成 30 年 1 月委託開始分は平成 30 年 1 月中旬から平成 30 年 4 月末日の間
- （５）平成 30 年 2 月委託開始分は平成 30 年 2 月中旬から平成 30 年 5 月末日の間
- （６）平成 30 年 3 月委託開始分は平成 30 年 3 月中旬から平成 30 年 6 月末日の間
- （７）平成 30 年 4 月委託開始分は平成 30 年 4 月中旬から平成 30 年 7 月末日の間
- （８）平成 30 年 5 月委託開始分は平成 30 年 5 月中旬から平成 30 年 8 月末日の間
- （９）平成 30 年 6 月委託開始分は平成 30 年 6 月中旬から平成 30 年 9 月末日の間
- （10）平成 30 年 7 月委託開始分は平成 30 年 7 月中旬から平成 30 年 10 月末日の間
- （11）平成 30 年 8 月委託開始分は平成 30 年 8 月中旬から平成 30 年 11 月末日の間
- （12）平成 30 年 9 月委託開始分は平成 30 年 9 月中旬から平成 30 年 12 月末日の間

- (13) 平成30年10月委託開始分は平成30年10月中旬から平成31年1月末日の間
- (14) 平成30年11月委託開始分は平成30年11月中旬から平成31年2月末日の間
- (15) 平成30年12月委託開始分は平成30年12月中旬から平成31年3月末日の間
- (16) 平成31年1月委託開始分は平成31年1月中旬から平成31年4月末日の間
- (17) 平成31年2月委託開始分は平成31年2月中旬から平成31年5月末日の間
- (18) 平成31年3月委託開始分は平成31年3月中旬から平成31年6月末日の間

※平成29年10月委託開始分については、延滞1か月目及び延滞2か月目の対象者を委託する。

※開始対象データの提供は、委託開始月の中旬頃となる。データの引渡しスケジュールの詳細は、契約締結後に受託者に開示する。

5. 委託業者

- (1) 債権管理回収業に関する特別措置法（平成10年法律第126号）で規定される債権回収会社であること。
- (2) 平成28, 29, 30年度文部科学省競争参加資格（全省統一資格）において「役務の提供等」の「A」、「B」または「C」の等級に格付けされた競争参加資格を有する者であること。
- (3) 毎月1回の定例会議の実施及び緊急を要する事案が生じた場合の連絡体制を鑑み、本社・支店・事業所等が関東甲信越地域にあること。

6. 業務の内容

- (1) 要返還者、連帯保証人、及び保証人（以下、「要返還者等」という）への受託通知、督促文書等の発送、及び、電話による督促
- (2) 要返還者等からの文書及び架電による返還に関する照会への対応
- (3) 延滞債権の管理回収
- (4) 電話による要返還者等の状況（住所、電話番号、勤務先、収入等）の調査
- (5) 返還が困難な者（委託請求額の一括返還が困難な者を含む）に対する、分割返還の指導、及び、事情書の送付及び受付
- (6) 当該業務終了時の要返還者等への委託終了通知の発送

7. 実施要領

- (1) 委託対象者データの受け渡し
(委託対象者データ)
 - ① 対象者データ(別紙1)については電子媒体により、引継書をもって双方確認のうえ、機構が指定した日に引き渡す。データは暗号化ソフトにより暗号化し

たものとする。

※対象者データの請求額は、委託当月分の割賦分を含めたものとする。

(請求額の洗い替え)

- ② 委託請求額は、毎月初旬に、更新（洗い替え）し、機構が指定した日時（別途協議）に電子データ（別紙1と同じフォーマット）で引き渡す。

(2) 回収金の取扱い

- ① 回収した返還金は委託期間中、委託業者から機構口座に、機構が指定した日程（別途協議：週1～3回の頻度を予定）で振り込み、毎回振込日までに機構に対し送金者情報データ（別紙2-1）及び報告書・入金者一覧（別紙2-2）を提出すること。なお、振込手数料は委託業者の負担とする。また、別途、入金情報を毎日電子メール等により機構に報告すること。
- ② 委託期間中に要返還者等が機構の払込用紙により送金した返還金については、当該入金情報（別紙3）を、電子メール等により定期的に（スケジュールは別途協議）機構が委託業者に引き渡す。
- ③ 業者入金の収納内訳についてのデータは入金者情報データ（別紙3）と同一のフォーマットにて、機構での処理が終了した段階で提供する、（提供スケジュールは別途協議）
- ④ 業者入金および機構入金後の返還残額データは入金後の返還残額データ（別紙4）にて提供する。（スケジュールは別途協議）

(3) 手数料

- ① 次のa～cのそれぞれの額とする。
 - a. 委託対象1件（債権ベース）につき、契約で定めた額
 - b. 延滞が解消した場合、1件（債権ベース）につき、契約で定めた額
 - ※ 翌月初旬の請求額の洗い替えまで、当該請求額の返還が確認できたものを延滞解消とみなす。
 - ※ a. で定めた額の範囲内とする。
 - ※ 複数債務のある要返還者の場合、委託した債権すべてにおいて当該請求額の返還が確認できたものを延滞解消とする。
 - c. 事情書送付1件（送付件数）につき、契約で定めた額
- ② 本委託業務の実施に係る経費は、上記①に掲げるもの以外については、機構は負担しない。

(4) 折衝記録

- ① 要返還者等及びその家族等との折衝内容、要返還者等の状況、その他、架電

日時、文書送付時など、回収業務状況報告を毎月末業務終了時、若しくは、機構が求める随時に、電子媒体等により引き渡すこと。(別紙5)

- ② 機構で把握した折衝記録については、電子データで定期的(日程は別途協議)に委託業者に引き渡す。(別紙3)
- ③ 電話督促等における音声記録については、法定帳簿に記録することとする。また、要返還者等からの通話内容の確認の要望や、委託業務の通話内容の確認のため、委託後6か月間は、音声データを保存しておくこと。

(5) 要返還者等の属性情報等の変更の取り扱い

- ① 住所・電話番号・勤務先等、要返還者等に係る属性情報に変更が判明した場合、その内容を住所変更データ(別紙6)に従ってデータとして翌営業日中に機構に提出すること。
- ② 電話が使用されていないことが判明した場合は、電話番号不使用リスト(別紙7)を作成し、機構の指定した日時に電子データにより報告すること。
- ③ 機構で把握した属性等の異動情報については、日次の差分(変更分)として電子データ(別紙1)により委託業者に引き渡す。

(6) 督促及び折衝等について

(委託請求額)

- ① 委託請求額は、委託当月分の割賦を含む。割賦の払込期限は月末なので、委託月末までに請求額を支払い、延滞解消となるよう指導すること。
- ② 期限の利益喪失は行わない。

(複数債権保有者の取扱い)

- ① 複数債務のある要返還者等には、各債権の内訳がわかるようにする。また、要返還者等がどの債権に対する返還の意思があるか把握し、充当すること。
- ② 回収額に係る管理は債権ベースで行う。

(返還方法)

- ① 金融機関の窓口に限らず、たとえば、ヴァーチャル口座、インターネット、コンビニエンスストアなどの収納等、要返還者等が送金しやすいよう配慮すること。

(発送文書)

- ① 受託通知、督促文書等は、債権回収会社で作成し送付すること。また、文書の内容については事前に機構と調整すること。
- ② 請求額の洗い替えがあった場合は、本人及び、必要に応じて、連帯保証人、及び保証人に通知すること。
- ③ 発送文書は「転送不要」とすること。

- ④ 発送文書が返戻となった場合は、返戻対象者リスト（別紙 8）により報告すると共に、架電等により現住所の確認をすること。

（督促・架電について）

- ① 督促・架電は、原則として、要返還者、連帯保証人、保証人の順に行うこと。

（応答体制等）

- ① 奨学金制度、和解制度を十分に理解しているオペレータ等を配置し、要返還者等からの問い合わせに対して、応答を取れる体制とすること。
- ② オペレータには、研修やフィードバックをこまめに行うこと。
- ③ 十分な電話回線数を設けること。また、土日も応答を取れる体制とすること。
- ④ 各対象者とも、和解について質問があった場合は、要返還者が、どこの裁判所で、いつ和解したものであるか、どのような内容であるかを説明すること。和解時の経緯など、詳細な説明が必要な場合は、機構に取り次ぐこと。（別紙 9）

a. 要返還者

- イ. 要返還者の状況（氏名、住所、勤務先※、収入（月収、ボーナス、年収）、支出等）を確認すること。

※機構は給与差押を実施しているため、特に、要返還者の勤務先情報（勤務先名（業種・雇用形態）、住所（市町村まででも可）、電話番号）に係る情報収集に努めていただきたい。

- ロ. 延滞分（当月分を含む）の送金を促し、延滞の解消を求めること。
- ハ. 要返還者のみで延滞の解消が困難な場合は、要返還者から連帯保証人と協力して延滞を解消させるよう求めること。
- 二. 延滞の解消が困難な場合は、分割返還を指導すること。
- ・ 3 か月程度で延滞の解消が見込める分割額を指示すること。
 - ・ 延滞解消に 3 か月を超える分割額の場合は 6 か月以内で延滞解消するよう強く求めること。
 - ・ 生活保護、傷病等の生活困窮により返還が困難な場合は事情書（別紙 10）を送付し、事情を証する証明書を添付して受託者に提出するよう求めること。
- ホ. 入金途絶え、延滞状態が続いた場合は、機構から差し押さえがある場合があることを伝えること。

b. 連帯保証人

- イ. 要返還者及び連帯保証人の状況（氏名、住所、勤務先、収入（月収、ボーナス、年収）、支出等）を確認すること。
- ロ. 要返還者への督促、及び、返還に協力するよう求めること。

c. 保証人

イ. 要返還者、連帯保証人の状況（氏名、住所、勤務先、収入等）を確認すること。

ロ. 要返還者及び連帯保証人への督促を求めること。

d. その他

イ. 前回折衝時の内容、入金状況等を踏まえ、柔軟に対応すること。（架電方法については、現在機構で使用している架電マニュアル（別紙11）を参照のこと。）

ロ. 要返還者等の過去の折衝の確認が必要な場合は、報告書（別紙9）にて機構に情報提供を請求すること。

ハ. その他、特別な事案が発生した場合は、報告書（別紙9）にて報告すること。

二. 要返還者等からの問い合わせ番号についてはフリーダイヤルを設定することが望ましい。

8. 委託業務の中止

次の場合は、委託業務を中止する。

- (1) 委託請求額の入金があり、延滞が解消した場合。
- (2) 要返還者等から事情書の提出により、要返還者の返還が困難であると認められる場合。
- (3) 要返還者が債務整理を行っている、若しくは、弁護士等から受任通知を受理した場合。
- (4) その他（これ以上委託を継続しても回収の見込がないと考えられる場合、債務者等が反社会勢力に該当することが判明した場合など。）

なお、要返還者等とのトラブル等により回収業務の継続が困難と考えられる場合は、業務の継続の可否を機構に報告（別紙9）し、機構の指示に従うこと。

9. 業務の検査

機構は、委託期間中の際に、業務の実地検査を行う。検査時に折衝に関するデータや書類等（折衝記録・音声記録など）を確認できるようにしておくこと。また、適正な業務処理の確保及び実施状況の報告体制を整備し、委託期間中は定期的に機構担当職員とミーティングを行うこと

10. 業務に係る報告

(1) 業務終了後10営業日以内に、業務終了報告書（別紙12）を提出すること。

(2) 対象者リスト（別紙13）

対象者リストには、委託中止、延滞解消、事情書送付、委託終了時延滞未解消、入

金約束の有無・内容、の各項目について記載し、各委託実施期間終了後 10 営業日以内に報告すること。また、業務終了後に上記（1）の報告書と併せて委託した全件を取りまとめたリストを最終版として提出すること。

- (3) 日々の要回収人員・架電件数・応答状況等について集計表（別紙 1 4）を作成し、報告すること（報告の時期については別途協議する）。

1 1. 委託業者・守秘義務

- (1) 委託業者と情報等の守秘に関する覚書を作成し、守秘内容を明確にする。
- (2) 委託業者に在籍時のみならず、退職後の責任を明記した「秘密保持及び個人情報保護に関する誓約書」を提出した者を本業務の従事者とし、その誓約書の開示を求める。
- (3) 関係法規等の教育体制の開示を求める。
- (4) 業務従事者は、債権回収会社での債権回収業務の通算従事期間が 1 年以上（委託業者が同等と認定する者を含む。同等と認定する者が従事する場合は同等とする条件を機構に提示し事前承認を得ること）の者に限る。
- (5) 情報セキュリティ体制の開示を求め、また、業務が終了し、保存期間経過後は速やかに委託業者で保持しているデータを抹消し、機構に報告すること。
- (6) 上記（1）から（5）の実施等に疑義がある場合は、質疑等を行い、不適切と判断したときは、当該結果について委託業者に連絡し、契約解除を含めた措置をとる。

1 2. その他

- (1) データの受け渡し等について
 - ① データの引渡し（受け入れを含む）の際は、暗号化ソフトによりデータを暗号化したうえで、実施すること。
 - ② データの様式の仕様は必要に応じて変更する場合がある。
- (2) 再委託について
 - ① 本委託業務について、全部を第三者に再委託することは認めない。但し、本委託の根幹となる業務以外の一部を第三者に委託することについて、機構の承認を事前に得ている場合は、この限りではない。
 - ② 再委託を予定している場合は、企画提案書に委託範囲と委託予定業者名（所在地等含む）を記載すること。
 - ③ 機構の承認を得て本業務の一部を第三者に再委託する場合は、当該第三者の行為について委託業者が責任を負うこと。
- (3) 定めのない事項等について
 - ① 本契約について、仕様に定めのない事項又は仕様に係る疑義が生じた事項については、機構と委託業者双方が誠意を持って協議決定することとする。
 - ② 受託後に本業務委託が適正に実施されない場合（本業務説明書の記載事項の不

履行、業務遅延の発生等)は、機構から委託業者へ指導を行い、指導後も改善が認められないと機構が判断した場合は、契約解除を含めた措置をとる。

(4) 制度変更に係る仕様変更等について

- ① 機構及び関係機関において制度変更が生じ、仕様変更を行う必要がある場合には、機構と委託業者双方が誠意を持って協議決定すること。

以 上

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
1	キー奨学生番号	11	11	X	リスト形式奨学生キー番号	-	リスト奨学生キー番号	奨学生番号変換
2	区切り01	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
3	処理奨学生番号	11	11	X	リスト形式奨学生処理番号	-	リスト奨学生処理番号	奨学生番号変換
4	区切り02	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
5	処理奨学生番号CD	1	1	X	奨学生処理番号CD	学種基本情報(TGKT01)	奨学生処理番号CD	-
6	区切り03	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
7	本人カナ氏名	20	20	X	奨学生カナ氏名	個人基本情報(TKJT01)	奨学生カナ氏名	-
8	区切り04	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
9	本人漢字氏名	20	10	N	奨学生漢字氏名	個人基本情報(TKJT01)	奨学生漢字氏名	-
10	区切り05	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
11	本人生年月日	8	8	X	奨学生生年月日	個人基本情報(TKJT01)	奨学生生年月日	-
12	区切り06	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
13	学校名称	60	30	N	学校漢字名称	学種基本情報(TGKT01)	学校漢字名称	-
14	区切り07	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
15	学校課程名称	12	6	N	-	学種基本情報(TGKT01)	学校課程名称	-
16	区切り08	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
17	本人住所指定コード	11	11	X	-	個人基本情報(TKJT01)	本人住所指定コード	-
18	区切り09	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
19	本人郵便番号	7	7	X	奨学生郵便番号	個人基本情報(TKJT01)	奨学生郵便番号	-
20	区切り10	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
21	本人漢字住所	100	50	N	奨学生漢字住所	個人基本情報(TKJT01)	奨学生漢字住所	-
22	区切り11	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
23	本人漢字補助住所	100	50	N	奨学生漢字補助住所	個人基本情報(TKJT01)	奨学生漢字補助住所	-
24	区切り12	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
25	本人電話番号	17	17	X	奨学生電話番号	個人基本情報(TKJT01)	奨学生電話番号	-
26	区切り13	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
27	携帯電話番号	20	20	X	奨学生携帯電話番号	個人基本情報(TKJT01)	奨学生携帯電話番号	-
28	区切り14	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
29	本人勤務先	60	30	N	本人勤務先漢字名称	勤務先情報(TKJT03)	本人勤務先漢字名称	-
30	区切り15	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
31	本人勤務先電話番号	17	17	X	-	勤務先情報(TKJT03)	本人勤務先電話番号	-
32	区切り16	1	1	X	固定値(,)	-	-	-
33	割賦金月賦分	9	9	X	割賦金または割賦金第二種	返還内訳情報(THGH01) 和解返還者情報(THHH13)	-	・和解後以外の場合 割賦金または割賦金第二種 ・和解後の場合 和解返還者情報の返還割賦金

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
34	区切り17	1	1	X	固定値(:)	-	-	-
35	割賦金併用半年賦分	9	9	X	割賦金併用	返還内訳情報(THGH01)	・和解後以外の場合 返還割賦金 + 据置利息割賦金 ・和解後は0固定	-
36	区切り18	1	1	X	固定値(:)	-	-	-
37	請求金額	9	9	X	-	-	・和解後以外の場合 HZKE05で算出した請求金額 ・和解後の場合 HZKF10で算出した請求金額	-
38	区切り19	1	1	X	固定値(:)	-	-	-
39	請求金額内訳元金	9	9	X	-	-	・和解後以外の場合 HZKE05で算出した請求金額内訳元金 ・和解後の場合 0固定	-
40	区切り20	1	1	X	固定値(:)	-	-	-
41	請求金額内訳元金併用	9	9	X	-	-	・和解後以外の場合 HZKE05で算出した請求金額内訳元金 併用 ・和解後の場合 0固定	-
42	区切り21	1	1	X	固定値(:)	-	-	-
43	請求金額内訳利息	9	9	X	-	回収委託情報(THKI01)	・和解後以外の場合 HZKE05で算出した請求金額内訳利息 ・和解後の場合 0固定	-
44	区切り22	1	1	X	固定値(:)	-	-	-
45	請求金額内訳利息併用	9	9	X	-	回収委託情報(THKI01)	・和解後以外の場合 HZKE05で算出した請求金額内訳利息 併用 ・和解後の場合 0固定	-
46	区切り23	1	1	X	固定値(:)	-	-	-
47	請求金額内訳延滞金	9	9	X	-	回収委託情報(THKI01)	・和解後以外の場合 HZKE05で算出した請求金額内訳延滞 金 ・和解後の場合	-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
48	区切り24	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
49	請求金額内訳延滞金併用	9	9	X	-	回収委託情報(THK101)	・和解後以外の場合 HZKE05で算出した請求金額内訳延滞金併用 ・和解後の場合 0固定	-
50	区切り25	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
51	連帯保証人カナ氏名	20	20	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人カナ氏名	-
52	区切り26	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
53	連帯保証人漢字氏名	20	10	N	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。 上記以外の場合 全角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人漢字氏名	-
54	区切り27	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
55	連帯保証人生年月日	8	8	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人生年月日	-
56	区切り28	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
57	連帯保証人続柄	1	1	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人続柄	-
58	区切り29	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
59	連帯保証人郵便番号	7	7	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人郵便番号	-
60	区切り30	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
61	連帯保証人漢字住所	100	50	N	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。 上記以外の場合 全角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人漢字住所	-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
62	区切り31	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
63	連帯保証人漢字補助住所	100	50	N	機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘2’または‘6’の場合転記する。 上記以外の場合 全角スペースを転記する	連帯個人情報(TGKT03)	連帯人漢字補助住所	—
64	区切り32	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
65	連帯保証人電話番号	17	17	X	機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘2’または‘6’の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	連帯個人情報(TGKT03)	連帯人自宅電話番号	—
66	区切り33	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
67	保証人カナ氏名	20	20	X	機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘3’の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人カナ氏名	—
68	区切り34	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
69	保証人漢字氏名	20	10		機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘3’の場合転記する。 上記以外の場合 全角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人漢字氏名	—
70	区切り35	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
71	保証人生年月日	8	8	X	機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘3’の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人生年月日	—
72	区切り36	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
73	保証人続柄	1	1	X	機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘3’の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人続柄	—
74	区切り37	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式
---------	-------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
75	保証人郵便番号	7	7	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'3'の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人郵便番号	-
76	区切り38	1	1	X	固定値(',')	-	-	-
77	保証人漢字住所	100	50	N	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'3'の場合転記する。 上記以外の場合 全角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人漢字住所	-
78	区切り39	1	1	X	固定値(',')	-	-	-
79	保証人漢字補助住所	100	50	N	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'3'の場合転記する。 上記以外の場合 全角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人漢字補助住所	-
80	区切り40	1	1	X	固定値(',')	-	-	-
81	保証人電話番号	17	17	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'3'の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人自宅電話番号	-
82	区切り41	1	1	X	固定値(',')	-	-	-
83	担当課	30	15	N	-	-	コード項目名検索にて取得	和解後は法務課
84	区切り42	1	1	X	固定値(',')	-	-	-
85	担当課電話番号ナビ	17	17	X	-	-	担当課電話番号ナビ コード項目名検索にて取得	和解後はスペース
86	区切り43	1	1	X	固定値(',')	-	-	-
87	担当課電話番号担当	17	17	X	担当課電話番号直通	-	担当課電話番号直通 コード項目名検索にて取得	和解後は '03-6743-6108'
88	区切り44	1	1	X	固定値(',')	-	-	-
89	作成年月日	8	8	X	-	-	作成年月日	業務処理日付
90	区切り45	1	1	X	固定値(',')	-	-	-
91	連保人住所状態コード	1	1	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。 上記以外の場合 半角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人住所状態コード	-
92	区切り46	1	1	X	固定値(',')	-	-	-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
93	連保人状態コード	1	1	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。上記以外の場合半角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人状態コード	—
94	区切り47	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
95	連保人破産コード	1	1	X	—	学種別債権管理情報 (TGKT06)	連保人破産コード	—
96	区切り48	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
97	保証人住所状態コード	1	1	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'3'の場合転記する。上記以外の場合半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人住所状態コード	—
98	区切り49	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
99	保証人状態コード	1	1	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'3'の場合転記する。上記以外の場合半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人状態コード	—
100	区切り50	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
101	保証人破産コード	1	1	X	—	学種別債権管理情報 (TGKT06)	保証人破産コード	—
102	区切り51	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
103	請求金額算出年月日	8	8	X	請求書金額算出年月日	回収委託情報(THKI01)	請求書金額算出年月日	—
104	区切り52	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
105	学種状態コード	3	3	X	—	学種基本情報(TGKT01)	学種状態コード	—
106	区切り53	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
107	返還次回年月	6	6	X	和解後の場合 和解返還者情報(THHH13) 和解後以外の場合 返還内訳情報(TGKH01)	和解返還者情報(THHH13) 返還内訳情報(TGKH01)	返還次回年月	—
108	区切り54	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
109	返還次回年月1	6	6	X	和解後の場合 和解返還者情報(THHH13) 和解後以外の場合 返還内訳情報(TGKH01)	和解返還者情報(THHH13) 返還内訳情報(TGKH01)	返還次回年月1	—
110	区切り55	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
111	返還次回年月2	6	6	X	—	返還内訳情報(TGKH01)	返還次回年月2	和解後はスペース
112	区切り56	1	1	X	固定値(;))	—	—	—
113	貸与始期年月	6	6	X	—	学種基本情報(TGKT01)	貸与始期年月	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
114	区切り57	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
115	貸与終期年月	6	6	X	—	学種基本情報(TGKT01)	貸与終期年月	—
116	区切り58	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
117	本人住所状態コード	1	1	X	—	個人基本情報(TKJT01)	本人住所状態コード	—
118	区切り59	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
119	本人状態コード	1	1	X	—	個人基本情報(TKJT01)	本人状態コード	—
120	区切り60	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
121	本人破産コード	1	1	X	奨学生破産コード	学種別債権管理情報(TGKT06)	奨学生破産コード	—
122	区切り61	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
123	口座状態コード	2	2	X	—	返還学種情報(TGKH01)	口座状態コード	和解後はスペース
124	区切り62	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
125	機械キー奨学生番号	11	11	X	奨学生キー番号	個人基本情報(TKJT01)	奨学生キー番号	—
126	区切り63	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
127	機械処理奨学生番号	11	11	X	奨学生処理番号	—	奨学生処理番号	奨学生番号変換
128	区切り64	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
129	仮受金合計額	9	9	X	—	返還学種情報(TGKH01)	仮受金合計額	—
130	区切り65	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
131	最新請求書類作成日	8	8	X	最新請求書類作成年月日	返還学種情報(TGKH01)	最新請求書類作成年月日	—
132	区切り66	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
133	住所氏名異動年月日	8	8	X	—	個人基本情報(TKJT01)	住所氏名異動年月日	—
134	区切り67	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
135	最新入金年月日	8	8	X	—	返還学種情報(TGKH01)	和解後は和解契約後の最新入金の入金年月日を設定。和解契約後に入金がない場合はスペース	—
136	区切り68	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
137	最新入金額	9	9	X	—	返還学種情報(TGKH01)	和解後は和解契約後の最新入金の入金額を設定。和解契約後に入金がない場合は0	—
138	区切り69	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
139	貸与総額	9	9	X	—	返還学種情報(TGKH01)	貸与総額	—
140	区切り70	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
141	年利率	10	10	X	—	返還学種情報(TGKH01)	加重平均金利 * 100	—
142	区切り71	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
143	返還残元金	9	9	X	—	返還学種情報(TGKH01)	返還残元金	—
144	区切り72	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
145	延滞金利率	2	2	X	“10”を固定 項番103「請求金額算出年月日」がどの利率の期間に該当するかを判定してセットする。	—	—	もし平成26年4月以降が 5%になるなら「△5」で固定 (サービサーのシステム対 応期間を考慮)又は「10」 を固定 ↓ 請求金額算出年月日時点 の利率を2桁で表示する。 例1) 7.3%⇒73 例2) 5%⇒△5
146	区切り73	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
147	返還誓約書状態コード	1	1	X	—	学種基本情報(TGKT01)	返還誓約書状態コード	—
148	区切り74	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
149	機関保証区分	1	1	X	—	学種基本情報(TGKT01)	機関保証区分	—
150	区切り75	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
151	本人性別コード	1	1	X	奨学生性別コード	個人基本情報(TKJT01)	奨学生性別コード	—
152	区切り76	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
153	払込方法コード	1	1	X	—	返還学種情報(TGKH01)	払込方法コード	和解後はスペース
154	区切り77	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
155	回収委託経緯区分	1	1	X	—	回収委託情報(THKI01)	回収委託経緯区分	—
156	区切り78	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
157	回収委託状態	1	1	X	—	回収委託情報(THKI01)	回収委託状態	—
158	区切り79	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
159	回収委託月数	2	2	X	—	回収委託情報(THKI01)	回収委託月数	—
160	区切り80	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
161	回収委託年月日	8	8	X	—	回収委託情報(THKI01)	回収委託年月日	—
162	区切り81	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
163	回収委託中止年月日	8	8	X	—	回収委託情報(THKI01)	回収委託中止年月日	—
164	区切り82	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
165	回収委託終了年月日	8	8	X	—	回収委託情報(THKI01)	回収委託終了年月日	—
166	区切り83	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
167	個信案内サイン	1	1	X	—	回収委託情報(THKI01)	個信案内サイン	和解後はスペース
168	区切り84	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
169	個信同意書提出サイン	1	1	X	—	学種基本情報(TGKT01)	個信同意書提出サイン	和解後はスペース

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式
---------	-------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
170	区切り85	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
171	個信登録サイン	1	1	X	—	回収委託情報(THKI01)	個信登録サイン	和解後はスペース
172	区切り86	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
173	個信登録予定年月	6	6	X	—	—	スペース	—
174	区切り87	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
175	割賦方法コード	1	1	X	—	返還学種情報(TGKH01)	割賦方法コード	和解後はスペース
176	区切り88	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
177	保全状態コード	2	2	X	—	返還学種情報(TGKH01)	保全状態コード	—
178	区切り89	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
179	連保人保全状態コード	2	2	X	—	返還学種情報(TGKH01)	連保人保全状態コード	—
180	区切り90	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
181	保証人保全状態コード	2	2	X	—	返還学種情報(TGKH01)	返還学種情報(TGKH01)	—
182	区切り91	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
183	予備	39	39	X	初期値	—	スペース	—
184	区切り92	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
185	本人カナ氏名拡張	30	30	X	奨学生カナ氏名	—	スペース	—
186	区切り93	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
187	連帯保証人カナ氏名拡張	30	30	X	連保人カナ氏名	—	スペース	—
188	区切り94	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
189	保証人カナ氏名拡張	30	30	X	保証人カナ氏名	—	スペース	—
190	区切り95	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
191	連保人携帯電話番号	20	20	X	機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘2’または‘6’の場合転記する。上記以外の場合半角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人携帯電話番号	—
192	区切り96	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
193	保証人携帯電話番号	20	20	X	機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘3’の場合転記する。上記以外の場合半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人携帯電話番号	—
194	区切り97	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
195	連保人勤務先漢字名称	60	30	N	機関保証区分が‘0’または‘3’の場合かつ対象者種別コードが‘2’または‘6’の場合転記する。上記以外の場合全角スペースを転記する	連保人情報(TGKT03)	連保人勤務先漢字名称	—
196	区切り98	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
197	連保人勤務先電話番号	17	17	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'2'または'6'の場合転記する。上記以外の場合半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	連保人勤務先電話番号	-
198	区切り99	1	1	X	固定値('')	-	-	-
199	保証人勤務先漢字名称	60	30	N	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'3'の場合転記する。上記以外の場合全角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人勤務先漢字名称	-
200	区切り100	1	1	X	固定値('')	-	-	-
201	保証人勤務先電話番号	17	17	X	機関保証区分が'0'または'3'の場合かつ対象者種別コードが'3'の場合転記する。上記以外の場合半角スペースを転記する	保証人情報(TGKT03)	保証人勤務先電話番号	-
202	区切り101	1	1	X	固定値('')	-	-	-
203	その他連絡先カナ氏名	30	30	X	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
204	区切り102	1	1	X	固定値('')	-	-	-
205	その他連絡先漢字氏名	20	10	N	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
206	区切り103	1	1	X	固定値('')	-	-	-
207	その他連絡先先生年月日	8	8	X	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
208	区切り104	1	1	X	固定値('')	-	-	-
209	その他連絡先続柄	1	1	X	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
210	区切り105	1	1	X	固定値('')	-	-	-
211	その他連絡先郵便番号	7	7	X	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
212	区切り106	1	1	X	固定値('')	-	-	-
213	その他連絡先漢字住所	100	50	N	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
214	区切り107	1	1	X	固定値('')	-	-	-
215	その他連絡先補助住所	100	50	N	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
216	区切り108	1	1	X	固定値('')	-	-	-
217	その他連絡先電話番号	17	17	X	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
218	区切り109	1	1	X	固定値('')	-	-	-
219	その他連絡先携帯番号	20	20	X	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
220	区切り110	1	1	X	固定値('')	-	-	-
221	その他住所状態コード	1	1	X	-	回収委託情報(THKI01)	-	-
222	区切り111	1	1	X	固定値('')	-	-	-
223	その他連絡先予備	2	2	X	初期値	回収委託情報(THKI01)	-	-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式
---------	-------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
224	区切り112	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
225	その他連絡先勤務先名称	60	30	N	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
226	区切り113	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
227	その他連絡先勤務先電話	17	17	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
228	区切り114	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
229	親権者1カナ氏名	30	30	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
230	区切り115	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
231	親権者1漢字氏名	20	10	N	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
232	区切り116	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
233	親権者1生年月日	8	8	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
234	区切り117	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
235	親権者1続柄	1	1	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
236	区切り118	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
237	親権者1郵便番号	7	7	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
238	区切り119	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
239	親権者1漢字住所	100	50	N	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
240	区切り120	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
241	親権者1漢字補助住所	100	50	N	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
242	区切り121	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
243	親権者1自宅電話番号	17	17	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
244	区切り122	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
245	親権者1携帯電話番号	20	20	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
246	区切り123	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
247	親権者1住所状態コード	1	1	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
248	区切り124	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
249	親権者1予備	2	2	X	初期値	回収委託情報(THKIO1)	-	-
250	区切り125	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
251	親権者1勤務先漢字名称	60	30	N	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
252	区切り126	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
253	親権者1勤務先電話番号	17	17	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
254	区切り127	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
255	親権者2カナ氏名	30	30	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
256	区切り128	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
257	親権者2漢字氏名	20	10	N	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-
258	区切り129	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
259	親権者2生年月日	8	8	X	-	回収委託情報(THKIO1)	-	-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式
---------	-------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
260	区切り130	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
261	親権者2続柄	1	1	X	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
262	区切り131	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
263	親権者2郵便番号	7	7	X	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
264	区切り132	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
265	親権者2漢字住所	100	50	N	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
266	区切り133	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
267	親権者2漢字補助住所	100	50	N	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
268	区切り134	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
269	親権者2自宅電話番号	17	17	X	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
270	区切り135	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
271	親権者2携帯電話番号	20	20	X	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
272	区切り136	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
273	親権者2住所状態コード	1	1	X	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
274	区切り137	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
275	親権者2予備	2	2	X	初期値	回収委託情報(THKI01)	—	—
276	区切り138	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
277	親権者2勤務先漢字名称	60	30	N	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
278	区切り139	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
279	親権者2勤務先電話番号	17	17	X	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
280	区切り140	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
281	回収委託業者コード	6	6	X	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
282	区切り141	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
281	グループID	7	7	X	—	回収委託情報(THKI01)	—	—
282	区切り142	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
275	データ区分	4	2	N	‘差分’、‘洗替’、‘初期’	回収委託情報(THKI01)	—	—
276	区切り143	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
277	猶予開始年月	6	6	X	中抜け猶予の開始年月	返還猶予履歴情報(THYR01)	スペース	—
278	区切り144	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
279	猶予終了年月	6	6	X	中抜け猶予の終了年月	返還猶予履歴情報(THYR01)	スペース	—
280	区切り145	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
281	延滞月数	3	3	X	中抜け猶予の期間を除いた延滞期間	返還猶予履歴情報(THYR01)	スペース	—
277	区切り146	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
278	通算延滞猶予猶予期間	3	3	X	中抜け猶予の期間	返還猶予履歴情報(THYR01)	スペース	—
279	区切り147	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
280	本人携帯第一架電了承	1	1	X	空白	—	—	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
281	区切り148	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
282	金利の種類	1	1	X	—	学種基本情報(TGKT01)	金利の種類	—
283	区切り149	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
284	当初利率	10	10	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01I)	見直し利率(1) × 100	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ PIC 9.99999999
285	区切り150	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
286	当初利率確定日	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01I)	確定年月日(1)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
287	区切り151	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
288	当初利率適用始期	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01I)	適用開始年月日(1)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
289	区切り152	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
290	当初利率適用終期	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01I)	適用終了年月日(1)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
291	区切り153	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
292	当初割賦金月賦	9	9	X	—	返還内訳情報 (THGH01)	WKT-割賦金 + WKT-据置利息割賦金	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
293	区切り154	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
294	当初割賦金半年賦	9	9	X	—	返還内訳情報 (THGH01)	WKN-割賦金 + WKN-据置利息割賦金	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
295	区切り155	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
296	見直し1回目利率	10	10	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01I)	見直し利率(2) × 100	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ PIC 9.99999999
297	区切り156	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
298	見直し1回目利率確定日	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01I)	確定年月日(2)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
299	区切り157	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
300	見直し1回目利率適用始期	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01I)	適用開始年月日(2)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
301	区切り158	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
302	見直し1回目利率適用終期	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01I)	適用終了年月日(2)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
303	区切り159	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
304	見直し1回目割賦金月賦	9	9	X	—	返還内訳情報 (THGH01) 返還金内訳作成部品 (HZKE03I) 割賦方法変更サブ(HZKE01I)	WKT-割賦金 + WKT-据置利息割賦金 LS052-UWK-KAPPU + LS052-UWK-SR-KAPPU LS050-13-UWK-KAPPU + LS050-13-UWK-SR-KAPPU	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
305	区切り160	1	1	X	固定値(‘)	—	—	—
306	見直し1回目割賦金半年賦	9	9	X	—	返還内訳情報 (THGH01) 割賦方法変更部品 (HZKE01I)	WKN-割賦金 + WKN-据置利息割賦金 LS050-24-UWK-KAPPU + LS050-24-UWK-SR-KAPPU	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
307	区切り161	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
308	見直し2回目利率	10	10	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01)	見直し利率(3) × 100	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ PIC 9.99999999
309	区切り162	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
310	見直し2回目利率確定日	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01)	確定年月日(3)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
311	区切り163	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
312	見直し2回目利率適用始期	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01)	適用開始年月日(3)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
313	区切り164	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
314	見直し2回目利率適用終期	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01)	適用終了年月日(3)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
315	区切り165	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
316	見直し2回目割賦金月賦	9	9	X	—	返還内訳情報 (THGH01) 返還金内訳作成部品 (HZKE03I) 割賦方法変更サブ (HZKE01I)	WKT-割賦金 + WKT-据置利息割賦金 LS052-UWK-KAPPU + LS052-UWK-SR-KAPPU LS050-13-UWK-KAPPU + LS050-13-UWK-SR-KAPPU	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
317	区切り166	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
318	見直し2回目割賦金半年賦	9	9	X	—	返還内訳情報 (THGH01) 割賦方法変更部品 (HZKE01I)	WKN-割賦金 + WKN-据置利息割賦金 LS050-24-UWK-KAPPU + LS050-24-UWK-SR-KAPPU	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
319	区切り167	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
320	見直し3回目利率	10	10	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01)	見直し利率(4) × 100	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ PIC 9.99999999
321	区切り168	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
322	見直し3回目利率確定日	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01)	確定年月日(4)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
323	区切り169	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
324	見直し3回目利率適用始期	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01)	適用開始年月日(4)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
325	区切り170	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
326	見直し3回目利率適用終期	8	8	X	—	見直し利率取得IF(HZKF01)	適用終了年月日(4)	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
327	区切り171	1	1	X	固定値(:)	—	—	—
328	見直し3回目割賦金月賦	9	9	X	—	返還内訳情報 (THGH01) 返還金内訳作成部品 (HZKE03I) 割賦方法変更サブ (HZKE01I)	WKT-割賦金 + WKT-据置利息割賦金 LS052-UWK-KAPPU + LS052-UWK-SR-KAPPU LS050-13-UWK-KAPPU + LS050-13-UWK-SR-KAPPU	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式
---------	-------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
329	区切り172	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
330	見直し3回目割賦金半年賦	9	9	X	-	返還内訳情報 (THGH01) 割賦方法変更部品 (HZKE011)	WKN-割賦金 + WKN-据置利息割賦金 LS050-24-UWK-KAPPU + LS050-24-UWK-SR-KAPPU	金利の種類 = '2'(見直し型)のみ
331	区切り173	1	1	X	固定値(;))	-	-	-
332	債権発生時の利率	4	4	X	項番113「貸与始期」+01日時点での延滞利率を セットする。 例1) 7.3%⇒0730 例2) 5%⇒0500	延滞利率情報(TKKU15)	延滞利率	
333	区切り174	1	1	X	固定値(;))	-	-	
334	現在の延滞金利率	4	4	X	項番103「請求金額算出年月日」がどの利率の期 間に該当するかを判定してセットする。 例1) 7.3%⇒0730 例2) 5%⇒0500	延滞利率情報(TKKU15)	延滞利率	
335	区切り175	1	1	X	固定値(;))	-	-	
336	延滞金内訳月賦	0	0	GF	No.337~No.380まで月賦用	-	-	
337	低減延滞金利率適用	1	1	X	低減の期間はサインを付与(1) ※上記期間以外はスペースとする。	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-初期利率適用フラグ(1)	
338	区切り176	1	1	X	固定値(;))	-	-	
339	低減延滞金利率適用期限日	8	8	X	低減の期間の終了日を設定する。 ※低減サインがスペースの場合はスペースとする。 期限日は初期登録と洗替の間に初期利率の終 了がはさまっている場合は初期利率終了日(27 日まで)	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-初期利率適用終了日(1)	
340	区切り177	1	1	X	固定値(;))	-	-	
341	延滞金利率1	4	4	X	(延滞金の内訳期間①) 延滞金利率1適用始期~延滞金利率1適用終期 までの利率をセットする。 例) 10%⇒1000	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間延滞利率(1,1)*10000	
342	区切り178	1	1	X	固定値(;))	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
343	延滞金利率1適用始期	8	8	X	<p>(延滞金の内訳期間①) 次回返還年月の翌日(延滞金発生日)をセットする。 2004年度以前の第一種の場合は、延滞金発生日が、次回返還年月の6カ月後の翌日となるため、次回返還年月から延滞金発生日の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用始期を基に判定した実際の適用始期をセットする。 (例)</p> <p>①紙マスタ 次回返還年月: 20131231 延滞金発生日: 20140701 延滞利率の変更日(適用始期): 20140401 適用始期: 20140101 → 20140401</p> <p>②口座マスタ 次回返還年月: 20131227 延滞金発生日: 20140628 延滞利率の変更日(適用始期): 20140328 適用始期: 20131228 → 20140328</p>	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間開始日(1,1)	
344	区切り179	1	1	X	固定値(,)	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
345	延滞金利率1適用終期	8	8	X	(延滞金の内訳期間①) 「延滞金利率適用始期1」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率がなければ(1レコードであれば)「請求金額算出年月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期1」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ: 20140331 ②口座マスタ: 20140327	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間終了日(1,1)	
346	区切り180	1	1	X	固定値(',')	-	-	
347	請求金額内訳延滞金利率1	9	9	X	(延滞金の内訳期間①) 「延滞金利率1適用始期」～「延滞金利率1適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞額(1,1)	
348	区切り181	1	1	X	固定値(',')	-	-	
349	延滞金利率2	4	4	X	(延滞金の内訳期間②) 延滞金利率2適用始期～延滞金利率2適用終期までの利率をセットする。 例) 10%⇒1000 ※「延滞金利率2適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞利率(1,2)*10000	
350	区切り182	1	1	X	固定値(',')	-	-	
351	延滞金利率2適用始期	8	8	X	(延滞金の内訳期間②) 「延滞金利率1適用終期」の翌日をセットする。 ※「延滞金利率1適用終期」に「請求金額算出年月日」がセットされている場合はスペース。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間開始日(1,2)	
352	区切り183	1	1	X	固定値(',')	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
353	延滞金利率2適用終期	8	8	X	(延滞金の内訳期間②) 「延滞金利率適用始期2」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率がなければ(1レコードであれば)「請求金額算出年月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期2」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ: 20140331 ②口座マスタ: 20140327 ※「延滞金利率2適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間終了日(1,2)	
354	区切り184	1	1	X	固定値(:)	-	-	
355	請求金額内訳延滞金利率2	9	9	X	(延滞金の内訳期間②) 「延滞金利率2適用始期」～「延滞金利率2適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。 ※「延滞金利率2適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間延滞額(1,2)	
356	区切り185	1	1	X	固定値(:)	-	-	
357	延滞金利率3	4	4	X	(延滞金の内訳期間③) 延滞金利率3適用始期～延滞金利率3適用終期までの利率をセットする。 例) 10%⇒1000 ※「延滞金利率3適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間延滞利率(1,3)	
358	区切り186	1	1	X	固定値(:)	-	-	
359	延滞金利率3適用始期	8	8	X	(延滞金の内訳期間③) 「延滞金利率2適用終期」の翌日をセットする。 ※「延滞金利率2適用終期」に「請求金額算出年月日」がセットされている場合はスペース。	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間開始日(1,3)	
360	区切り187	1	1	X	固定値(:)	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
361	延滞金利率3適用終期	8	8	X	(延滞金の内訳期間③) 「延滞金利率適用始期3」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率がなければ(1レコードであれば)「請求金額算出年月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期3」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ: 20140331 ②口座マスタ: 20140327 ※「延滞金利率3適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間終了日(1,3)	
362	区切り188	1	1	X	固定値(:)	-	-	
363	請求金額内訳延滞金利率3	9	9	X	(延滞金の内訳期間③) 「延滞金利率3適用始期」～「延滞金利率3適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。 ※「延滞金利率3適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間延滞額(1,3)	
364	区切り189	1	1	X	固定値(:)	-	-	
365	延滞金利率4	4	4	X	(延滞金の内訳期間④) 延滞金利率4適用始期～延滞金利率4適用終期までの利率をセットする。 例) 10%⇒1000 ※「延滞金利率4適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間延滞利率(1,4)*10000	
366	区切り190	1	1	X	固定値(:)	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式
---------	-------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
367	延滞金利率4適用始期	8	8	X	(延滞金の内訳期間④) 「延滞金利率3適用終期」の翌日をセットする。 ※「延滞金利率3適用終期」に「請求金額算出年月日」がセットされている場合はスペース。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間開始日(1,4)	
368	区切り191	1	1	X	固定値(;))	-	-	
369	延滞金利率4適用終期	8	8	X	(延滞金の内訳期間④) 「延滞金利率適用始期4」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率がなければ(1レコードであれば)「請求金額算出年月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期4」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ:20140331 ②口座マスタ:20140327 ※「延滞金利率4適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間終了日(1,4)	
370	区切り192	1	1	X	固定値(;))	-	-	
371	請求金額内訳延滞金利率4	9	9	X	(延滞金の内訳期間④) 「延滞金利率4適用始期」～「延滞金利率4適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。 ※「延滞金利率4適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞額(1,4)	
372	区切り193	1	1	X	固定値(;))	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式
---------	-------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
373	延滞金利率5	4	4	X	(延滞金の内訳期間⑤) 延滞金利率5適用始期～延滞金利率5適用終期 までの利率をセットする。 例)10%⇒1000 ※「延滞金利率5適用始期」がスペースの場合は スペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞利率(1,5)*10000	
374	区切り194	1	1	X	固定値(:)	-	-	
375	延滞金利率5適用始期	8	8	X	(延滞金の内訳期間⑤) 「延滞金利率4適用終期」の翌日をセットする。 ※「延滞金利率4適用終期」に「請求金額算出年 月日」がセットされている場合はスペース。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間開始日(1,5)	
376	区切り195	1	1	X	固定値(:)	-	-	
377	延滞金利率5適用終期	8	8	X	(延滞金の内訳期間⑤) 「延滞金利率適用始期5」～「請求金額算出年月 日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率が なければ(1レコードであれば)「請求金額算出年 月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期5」～「請求金額算出 年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の 利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場 合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を 基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ:20140331 ②口座マスタ:2014 0327 ※「延滞金利率5適用始期」がスペースの場合は スペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間終了日(1,5)	
378	区切り196	1	1	X	固定値(:)	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
379	請求金額内訳延滞金利率5	9	9	X	(延滞金の内訳期間⑤) 「延滞金利率5適用始期」～「延滞金利率5適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。 ※「延滞金利率5適用始期」がスペースの場合はスペース	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間延滞額(1,5)	
380	区切り197	1	1	X	固定値(:)	-	-	
381	延滞金内訳半年賦	0	0	GF	No.382～No.425まで月賦用 割賦方法が併用以外の場合は区切り項目以外スペース	-	-	
382	低減延滞金利率適用半年賦	1	1	X	併用半年賦の場合の低減の期間はサインを付与 (1) ※上記期間以外はスペースとする。	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-初期利率適用フラグ(2)	
383	区切り198	1	1	X	固定値(:)	-	-	
384	低減延滞金利率適用期限日半年賦	8	8	X	併用半年賦の場合の低減の期間の終了日を設定する。 ※低減サインがスペースの場合はスペースとする。 期限日は初期登録と洗替の間に初期利率の終了がはさまっている場合は初期利率終了日(27日など)	-	LS062-初期利率適用終了日(2)	
385	区切り199	1	1	X	固定値(:)	-	-	
386	延滞金利率1半年賦	4	4	X	(延滞金の内訳期間①(併用半年賦)) 延滞金利率1適用始期～延滞金利率1適用終期までの利率をセットする。 例) 10%⇒1000	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間延滞利率(2,1)*10000	
387	区切り200	1	1	X	固定値(:)	-	-	
388	延滞金利率1適用始期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間①(併用半年賦)) 次回返還年月の翌日(延滞金発生日)をセットす	請求金額算出 (HZKE05) 結果	LS062-期間開始日(2,1)	
389	区切り201	1	1	X	固定値(:)	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
390	延滞金利率1適用終期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間①(併用半年賦)) 「延滞金利率適用始期1」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率がなければ(1レコードであれば)「請求金額算出年月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期1」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ: 20140331 ②口座マスタ: 20140327	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間終了日(2.1)	
391	区切り202	1	1	X	固定値(;))	-	-	
392	請求金額内訳延滞金利率1半年賦	9	9	X	(延滞金の内訳期間①(併用半年賦)) 「延滞金利率1適用始期」～「延滞金利率1適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞額(2.1)	
393	区切り203	1	1	X	固定値(;))	-	-	
394	延滞金利率2半年賦	4	4	X	(延滞金の内訳期間②(併用半年賦)) 延滞金利率2適用始期～延滞金利率2適用終期までの利率をセットする。 例) 10%⇒1000 ※「延滞金利率2適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞利率(2.2)*10000	
395	区切り204	1	1	X	固定値(;))	-	-	
396	延滞金利率2適用始期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間②(併用半年賦)) 「延滞金利率1適用終期(併用半年賦)」の翌日をセットする。 ※「延滞金利率1適用終期(併用半年賦)」に「請求金額算出年月日」がセットされている場合はスペース。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間開始日(2.2)	
397	区切り205	1	1	X	固定値(;))	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:日立ソフト	作成日:2010/03/31
		更新者:I-SYSTEM	更新日:2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ:CSV形式
---------	-------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
398	延滞金利率2適用終期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間②(併用半年賦)) 「延滞金利率適用始期2」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率がなければ(1レコードであれば)「請求金額算出年月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期2」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ:20140331 ②口座マスタ:20140327 ※「延滞金利率2適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間終了日(2,2)	
399	区切り206	1	1	X	固定値(:)	-	-	
400	請求金額内訳延滞金利率2半年賦	9	9	X	(延滞金の内訳期間②(併用半年賦)) 「延滞金利率2適用始期」～「延滞金利率2適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。 ※「延滞金利率2適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞額(2,2)	
401	区切り207	1	1	X	固定値(:)	-	-	
402	延滞金利率3半年賦	4	4	X	(延滞金の内訳期間③(併用半年賦)) 延滞金利率3適用始期～延滞金利率3適用終期までの利率をセットする。 例)10%⇒1000 ※「延滞金利率3適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞利率(2,3)	
403	区切り208	1	1	X	固定値(:)	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
404	延滞金利率3適用始期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間③(併用半年賦)) 「延滞金利率2適用終期(併用半年賦)」の翌日を セットする。 ※「延滞金利率2適用終期(併用半年賦)」に「請求金額算出年月日」がセットされている場合はスペース。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間開始日(2,3)	
405	区切り209	1	1	X	固定値(:)	-	-	
406	延滞金利率3適用終期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間③(併用半年賦)) 「延滞金利率適用始期3」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率がなければ(1レコードであれば)「請求金額算出年月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期3」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ: 20140331 ②口座マスタ: 20140327 ※「延滞金利率3適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間終了日(2,3)	
407	区切り210	1	1	X	固定値(:)	-	-	
408	請求金額内訳延滞金利率3半年賦	9	9	X	(延滞金の内訳期間③(併用半年賦)) 「延滞金利率3適用始期」～「延滞金利率3適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。 ※「延滞金利率3適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞額(2,3)	
409	区切り211	1	1	X	固定値(:)	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
410	延滞金利率4半年賦	4	4	X	(延滞金の内訳期間④(併用半年賦)) 延滞金利率4適用始期～延滞金利率4適用終期 までの利率をセットする。 例) 10%⇒1000 ※「延滞金利率4適用始期(併用半年賦)」がス ペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞利率(2.4)*10000	
411	区切り212	1	1	X	固定値(;))	-	-	
412	延滞金利率4適用始期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間④(併用半年賦)) 「延滞金利率3適用終期(併用半年賦)」の翌日を セットする。 ※「延滞金利率3適用終期(併用半年賦)」に「請 求金額算出年月日」がセットされている場合はス ペース。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間開始日(2.4)	
413	区切り213	1	1	X	固定値(;))	-	-	
414	延滞金利率4適用終期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間④(併用半年賦)) 「延滞金利率適用始期4」～「請求金額算出年 月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率が なければ(1レコードであれば)「請求金額算出年 月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期4」～「請求金額算出 年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の 利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場 合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を 基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ: 20140331 ②口座マスタ: 2014 0327 ※「延滞金利率4適用始期(併用半年賦)」がス ペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間終了日(2.4)	
415	区切り214	1	1	X	固定値(;))	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
416	請求金額内訳延滞金利率4半年賦	9	9	X	(延滞金の内訳期間④(併用半年賦)) 「延滞金利率4適用始期」～「延滞金利率4適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。 ※「延滞金利率4適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞額(2,4)	
417	区切り215	1	1	X	固定値(,)	-	-	
418	延滞金利率5半年賦	4	4	X	(延滞金の内訳期間⑤(併用半年賦)) 延滞金利率5適用始期～延滞金利率5適用終期までの利率をセットする。 例) 10%⇒1000 ※「延滞金利率5適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞利率(2,5)*10000	
419	区切り216	1	1	X	固定値(,)	-	-	
420	延滞金利率5適用始期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間⑤(併用半年賦)) 「延滞金利率4適用終期(併用半年賦)」の翌日をセットする。 ※「延滞金利率4適用終期(併用半年賦)」に「請求金額算出年月日」がセットされている場合はスペース。	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間開始日(2,5)	
421	区切り217	1	1	X	固定値(,)	-	-	

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者: 日立ソフト	作成日: 2010/03/31
		更新者: I-SYSTEM	更新日: 2014/03/14

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	GS061	送/受信	送信	連携データ名	回収委託データ: CSV形式
---------	-------	------	----	--------	----------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
422	延滞金利率5適用終期半年賦	8	8	X	(延滞金の内訳期間⑤(併用半年賦)) 「延滞金利率適用始期5」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上利率がなければ(1レコードであれば)「請求金額算出年月日」をセットする。 もし、「延滞金利率適用始期5」～「請求金額算出年月日」の間でJSASの延滞利率パラメータ上の利率の変更があれば(2レコード以上またぐ場合)、JSASの延滞利率パラメータ上の適用終期を基に判定した実際の適用終期をセットする。 (例) ①紙マスタ: 20140331 ②口座マスタ: 20140327 ※「延滞金利率5適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間終了日(2,5)	
423	区切り218	1	1	X	固定値(:)	-	-	
424	請求金額内訳延滞金利率5半年賦	9	9	X	(延滞金の内訳期間⑤(併用半年賦)) 「延滞金利率5適用始期」～「延滞金利率5適用終期」までの利率でかかる延滞金額をセットする。 ※「延滞金利率5適用始期(併用半年賦)」がスペースの場合はスペース	請求金額算出(HZKE05)結果	LS062-期間延滞額(2,5)	
425	区切り219	1	1	X	固定値(:)	-	-	
426	OT2-CR	1	1	X	改行	-	-	
	レコード長	3621						

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:I-SYSTEM	作成日:2015/3/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	WHD056	送／受信	送信	連携データ名	和解情報データ:CSV形式
---------	--------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
1	リスト奨学生キー番号	11	11	X	リスト形式奨学生キー番号		奨学生キー番号	—
2	CUM1	1	1	X	固定値(‘)		—	—
3	リスト奨学生処理番号	11	11	X	リスト形式奨学生処理番号		奨学生処理番号	—
4	CUM2	1	1	X	固定値(‘)		—	—
5	機械奨学生キー番号	11	11	X	—		奨学生キー番号	—
6	CUM3	1	1	X	固定値(‘)		—	—
7	機械奨学生処理番号	11	11	X	—		奨学生処理番号	—
8	CUM4	1	1	X	固定値(‘)		—	—
9	和解対象者	1	1	X	—	和解返還者情報(THHH13)	和解対象者	—
10	CUM5	1	1	X	固定値(‘)		—	—
11	奨学生カナ氏名	30	30	X	—	個人基本情報(TKJT01)	奨学生カナ氏名	—
12	CUM6	1	1	X	固定値(‘)		—	—
13	奨学生漢字氏名	20	10	N	—	個人基本情報(TKJT01)	奨学生漢字氏名	—
14	CUM7	1	1	X	固定値(‘)		—	—
15	連保人カナ氏名	30	30	X	—	連保人等情報(TGKT03)	連保人カナ氏名	—
16	CUM8	1	1	X	固定値(‘)		—	—
17	連保人漢字氏名	20	10	N	—	連保人等情報(TGKT03)	連保人漢字氏名	—
18	CUM9	1	1	X	固定値(‘)		—	—
19	保証人カナ氏名	30	30	X	—	連保人等情報(TGKT03)	保証人カナ氏名	—
20	CUM10	1	1	X	固定値(‘)		—	—
21	保証人漢字氏名	20	10	N	—	連保人等情報(TGKT03)	保証人漢字氏名	—
22	CUM11	1	1	X	固定値(‘)		—	—
23	裁判所	20	10	N	—	法的措置対象者情報(THHH10)	訴訟裁判所	—
24	CUM12	1	1	X	固定値(‘)		—	—
25	事件番号	36	18	N	—	法的措置対象者情報(THHH10)	訴訟申立事件番号年+‘(’+訴訟申立事件番号記号+’)第’+訴訟申立事件番号通番+’号’	—
26	CUM13	1	1	X	固定値(‘)		—	—
27	訴訟結果	2	2	X	—	法的措置対象者情報(THHH10)	訴訟結果	—
28	CUM14	1	1	X	固定値(‘)		—	—
29	訴訟結果決定日	8	8	X	—	法的措置対象者情報(THHH10)	訴訟結果決定日	—
30	CUM15	1	1	X	固定値(‘)		—	—
31	和解内容総額	9	9	9	—	和解管理情報(THHH12)	和解内容総額	—
32	CUM16	1	1	X	固定値(‘)		—	—
33	和解内容元金	9	9	9	—	和解管理情報(THHH12)	和解内容元金	—
34	CUM17	1	1	X	固定値(‘)		—	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:I-SYSTEM	作成日:2015/3/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	WHD056	送／受信	送信	連携データ名	和解情報データ:CSV形式
---------	--------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
35	和解内容利息	7	7	9	-	和解管理情報(THHH12)	和解内容利息	-
36	CUM18	1	1	X	固定値(:)			-
37	和解内容延滞金	7	7	9	-	和解管理情報(THHH12)	和解内容延滞金	-
38	CUM19	1	1	X	固定値(:)			-
39	和解内容費用	7	7	9	-	和解管理情報(THHH12)	和解内容費用	-
40	CUM20	1	1	X	固定値(:)			-
41	和解残額	9	9	9	-	「和解残元金」+「和解残利息」+「和解残延滞金」+「和解残費用」	-	-
42	CUM21	1	1	X	固定値(:)			-
43	和解残元金	9	9	9	-	返還内訳情報(THGH01)	返還残元金	-
44	CUM22	1	1	X	固定値(:)			-
45	和解残利息	7	7	9	-	返還内訳情報(THGH01)	和解残利息	-
46	CUM23	1	1	X	固定値(:)			-
47	和解残延滞金	7	7	9	-	返還内訳情報(THGH01)	和解残延滞金	-
48	CUM24	1	1	X	固定値(:)			-
49	和解残費用	7	7	9	-	返還内訳情報(THGH01)	和解残費用	-
50	CUM25	1	1	X	固定値(:)			-
51	最新入金日	8	8	X	-	和解入金記録情報(THNH02)	最新入金日	-
52	CUM26	1	1	X	固定値(:)			-
53	最新入金額	9	9	9	-	返還入金異動記録情報(THNH01)	最新入金額	-
54	CUM27	1	1	X	固定値(:)			-
55	和解期限の利益剥奪日	8	8	X	-	和解管理情報(THHH12)	和解期限の利益剥奪日	-
56	CUM28	1	1	X	固定値(:)			-
57	懈怠約款コード	1	1	X	-	和解返還者情報(THHH13)	懈怠約款コード	-
58	CUM29	1	1	X	固定値(:)			-
59	懈怠約款金額	9	9	9	-	和解返還者情報(THHH13)	懈怠約款金額	-
60	CUM30	1	1	X	固定値(:)			-
61	懈怠約款複数学種サイン	1	1	X	-	和解返還者情報(THHH13)	懈怠約款複数学種サイン	-
62	CUM31	1	1	X	固定値(:)			-
63	割賦方法コード	1	1	X	-	和解返還者情報(THHH13)	割賦方法コード	-
64	CUM32	1	1	X	固定値(:)			-
65	次回返還期日の年月	6	6	X	-	和解返還者情報(THHH13)	返還次回年月の年月	-
66	CUM33	1	1	X	固定値(:)			-
67	次回返還期日の日	2	2	X	-	和解返還者情報(THHH13)	返還次回年月の日	-
68	CUM34	1	1	X	固定値(:)			-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:I-SYSTEM	作成日:2015/3/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	WHD056	送/受信	送信	連携データ名	和解情報データ:CSV形式
---------	--------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
69	次回割賦金	9	9	9	-	和解返還者情報(THHH13)	返還残回数=0の場合0を設定 上記以外の場合、返還割賦金-返還割賦金補正額を設定	-
70	CUM35	1	1	X	固定値(：)			-
71	返還回数	3	3	9	-	和解返還者情報(THHH13)	返還回数	-
72	CUM36	1	1	X	固定値(：)			-
73	返還残回数	3	3	9	-	和解返還者情報(THHH13)	返還残回数	-
74	CUM37	1	1	X	固定値(：)			-
75	払込方法	1	1	X	-	和解返還者情報(THHH13)	払込方法コード	-
76	CUM38	1	1	X	固定値(：)			-
77	口座加入年月日	8	8	X	-	和解返還者情報(THHH13)	口座加入年月日	-
78	CUM39	1	1	X	固定値(：)			-
79	金融機関指定コード	4	4	X	-	和解返還者情報(THHH13)	金融機関指定コード	-
80	CUM40	1	1	X	固定値(：)			-
81	金融機関漢字名称	30	15	N	-	金融機関情報(TKUU01)	金融機関漢字名称	-
82	CUM41	1	1	X	固定値(：)			-
83	金融機関支店番号	3	3	X	-	和解返還者情報(THHH13)	金融機関支店番号	-
84	CUM42	1	1	X	固定値(：)			-
85	金融機関支店漢字名称	30	15	N	-	金融機関情報(TKUU01)	金融機関支店漢字名称	-
86	CUM43	1	1	X	固定値(：)			-
87	金融機関預金コード	1	1	X	-	和解返還者情報(THHH13)	金融機関預金コード	-
88	CUM44	1	1	X	固定値(：)			-
89	金融機関口座番号	7	7	X	-	和解返還者情報(THHH13)	金融機関口座番号	-
90	CUM45	1	1	X	固定値(：)			-
91	郵便貯金通帳記号	5	5	X	-	和解返還者情報(THHH13)	郵便貯金通帳記号	-
92	CUM46	1	1	X	固定値(：)			-
93	郵便貯金通帳番号	8	8	X	-	和解返還者情報(THHH13)	郵便貯金通帳番号	-
94	CUM47	1	1	X	固定値(：)			-
93	口座名義人カナ氏名	30	30	X	-	和解返還者情報(THHH13)	口座名義人カナ氏名	-
94	CUM48	1	1	X	固定値(：)			-
95	口座名義人漢字氏名	20	10	N	-	和解返還者情報(THHH13)	口座名義人漢字氏名	-
96	CUM49	1	1	X	固定値(：)			-
97	最新振替データ作成年月	6	6	X	-	和解返還者情報(THHH13)	最新振替データ作成日	-
98	CUM50	1	1	X	固定値(：)			-
99	最新振替請求金額	9	9	9	-	和解返還者情報(THHH13)	最新振替請求金額	-
100	CUM51	1	1	X	固定値(：)			-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:I-SYSTEM	作成日:2015/3/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	WHD056	送/受信	送信	連携データ名	和解情報データ:CSV形式
---------	--------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
101	和解口座状態コード	2	2	X	-	和解返還者情報(THHH13)	和解口座状態コード	-
102	CUM52	1	1	X	固定値(:)			-
103	振替結果コード	1	1	X	-	和解返還者情報(THHH13)	振替結果コード	-
104	CUM53	1	1	X	固定値(:)			-
105	和解振替不能コード	1	1	X	-	和解返還者情報(THHH13)	和解振替不能コード	-
106	CUM54	1	1	X	固定値(:)			-
107	口座振替不能回数	3	3	9	-	和解返還者情報(THHH13)	口座振替不能回数	-
108	CUM55	1	1	X	固定値(:)			-
109	請求金額	9	9	9	-	-	請求金額	'HZKF10'(和解後返還請求額編集サブ)
110	CUM56	1	1	X	固定値(:)			-
111	請求金額内訳(元金)	9	9	9	-	-	請求金額内訳(元金)	'HZKF10'(和解後返還請求額編集サブ)
112	CUM57	1	1	X	固定値(:)			-
113	請求金額内訳(利息)	9	9	9	-	-	請求金額内訳(利息)	'HZKF10'(和解後返還請求額編集サブ)
114	CUM58	1	1	X	固定値(:)			-
115	請求金額内訳(延滞金)	9	9	9	-	-	請求金額内訳(延滞金)	'HZKF10'(和解後返還請求額編集サブ)
116	CUM59	1	1	X	固定値(:)			-
117	請求金額内訳(費用)	9	9	9	-	-	請求金額内訳(費用)	'HZKF10'(和解後返還請求額編集サブ)
118	CUM60	1	1	X	固定値(:)			-
119	請求金額算出年月日	8	8	X	-	SPACE	-	-
120	CUM61	1	1	X	固定値(:)			-
121	イベント区分	1	1	X	-	SPACE	-	-
122	CUM62	1	1	X	固定値(:)			-
123	架電ファイルコード	2	2	X	-	SPACE	-	-
124	CUM63	1	1	X	固定値(:)			-
125	作成年月日	8	8	X	-	SPACE	-	-
126	CUM64	1	1	X	固定値(:)			-
127	委託開始年月日	8	8	X	-	SPACE	-	-
128	CUM65	1	1	X	固定値(:)			-
129	委託終了年月日	8	8	X	-	SPACE	-	-
130	CUM66	1	1	X	固定値(:)			-
131	委託業者コード	6	6	X	-	SPACE	-	-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:I-SYSTEM	作成日:2015/3/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	WHD056	送/受信	送信	連携データ名	和解情報データ:CSV形式
---------	--------	------	----	--------	---------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
132	CUM67	1	1	X	固定値(,)			-
133	処理キー	8	8	X		SPACE	-	-
134	CUM68	1	1	X	固定値(,)			-
135	予備	15	15	X	-	SPACE	-	-
123	CUM69	1	1	X	固定値(,)			-
124	FILLER	1	1	X	改行			-
								-
								-
	レコード長	747						

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:I-SYSTEM	作成日:2015/3/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	WHD057	送／受信	送信	連携データ名	和解返還スケジュールデータ:CSV形式
---------	--------	------	----	--------	---------------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
1	リスト奨学生キー番号	11	11	X	リスト形式奨学生キー番号		奨学生キー番号	—
2	CUM1	1	1	X	固定値(‘)		—	—
3	リスト奨学生処理番号	11	11	X	リスト形式奨学生処理番号		奨学生処理番号	—
4	CUM2	1	1	X	固定値(‘)		—	—
5	機械奨学生キー番号	11	11	X	—		奨学生キー番号	—
6	CUM3	1	1	X	固定値(‘)		—	—
7	機械奨学生処理番号	11	11	X	—		奨学生処理番号	—
8	CUM4	1	1	X	固定値(‘)		—	—
9	返還回次	3	3	9	—	和解返還者情報(THHH13)	1から採番して設定	—
10	CUM5	1	1	X	固定値(‘)		—	—
11	返還期日の年月	6	6	X	—	和解返還者情報(THHH13)	和解・分割返還開始月	—
12	CUM6	1	1	X	固定値(‘)		—	—
13	返還期日の日	2	2	X	—	和解返還者情報(THHH13)	返還期日の年月の月末日を設定	—
14	CUM7	1	1	X	固定値(‘)		—	—
15	返還月賦額	9	9	9	—	和解返還者情報(THHH13)	和解・分割返還月賦額	—
16	CUM8	1	1	X	固定値(‘)		—	—
17	返還半年賦額	9	9	9	—	和解返還者情報(THHH13)	和解・分割返還半年賦額	—
18	CUM9	1	1	X	固定値(‘)		—	—
19	当回分返還後の残高	9	9	9	—	和解返還者情報(THHH13)	返還回数が1の場合、 和解金総額 - 和解・分割返還月賦額 + 和解・分割返還半年賦額 上記以外の場合、 当回分返還後の残高 - 和解・分割返還月賦額 + 和解・分割返還半年賦額	—
20	CUM10	1	1	X	固定値(‘)		—	—
21	イベント区分	1	1	X	—	SPACE	—	—
22	CUM11	1	1	X	固定値(‘)		—	—
23	架電ファイルコード	2	2	X	—	SPACE	—	—
24	CUM12	1	1	X	固定値(‘)		—	—
25	作成年月日	8	8	X	—	SPACE	—	—
26	CUM13	1	1	X	固定値(‘)		—	—
27	委託開始年月日	8	8	X	—	SPACE	—	—
28	CUM14	1	1	X	固定値(‘)		—	—
29	委託終了年月日	8	8	X	—	SPACE	—	—
30	CUM15	1	1	X	固定値(‘)		—	—
31	委託業者コード	6	6	X	—	SPACE	—	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	インタフェース仕様書	作成者:I-SYSTEM	作成日:2015/3/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還	連携システム名	回収委託
------	---	-----	----	---------	------

連携データID	WHD057	送/受信	送信	連携データ名	和解返還スケジュールデータ:CSV形式
---------	--------	------	----	--------	---------------------

No.	フィールド名	BYTE数	桁数	属性	項目説明	設定元情報	設定元	備考
32	CUM16	1	1	X	固定値(:)			-
33	処理キー	8	8	X	-	SPACE	-	-
34	CUM17	1	1	X	固定値(:)			-
21	予備	10	10	X	-	SPACE	-	-
22	CUM18	1	1	X	固定値(:)			-
23	FILLER	1	1	X	改行			-
								-
	レコード長	152						

サブ業務:回収委託	ファイル名:入金データ
-----------	-------------

No.	項目名	属性	桁数	BYTE数	備考
■【ヘッダー】					
1	カード区分	X	1	1	固定で「5」をセットする。
2	種別	X	1	1	固定で「4」をセットする
3	データ細分	X	1	1	固定で「3」をセットする
4	支所	X	1	1	固定で「1」をセットする。
5	係コード	X	1	1	固定で「3」をセットする
6	年度	X	2	2	西暦下2桁
7	整理番号	X	5	5	グループIDごとに00001～(100件ごとに整理番号を変える)
8	受付日付(月日)	X	4	4	月、日が1桁のときは、半角前スペース。
9	送金種別	X	4	4	固定で「904」をセットする。右寄せで半角前スペース。
10	バッチ内件数	X	6	6	6桁に満たないときは半角前スペース。(件数100以下とする)
11	バッチ内入金合計金額	X	12	12	12桁に満たないときは半角前スペース。
12	金融別入金件数	X	6	6	6桁に満たないときは半角前スペース。(件数100以下とする)
13	金融別入金合計金額	X	12	12	12桁に満たないときは半角前スペース。
14	支所係別入金件数	X	6	6	6桁に満たないときは半角前スペース。(件数100以下とする)
15	支所係別入金合計金額	X	12	12	12桁に満たないときは半角前スペース。
16	FILLER	X	1	1	半角スペース。
17	住所パンチ有無区分	X	1	1	固定で「0」をセットする。
18	FILLER	X	1	1	半角スペース。
19	回収委託グループID	X	7	7	(201002A、201003A、201004A・・・)
20	FILLER	X	1	1	半角スペース
21	受付年月日	X	8	8	西暦で年、月、日が1桁のときは、半角前スペース。 ※委託業者→機構への入金日
22	FILLER	X	307	307	フル桁半角スペース。
			合計	400	バイト
■【データ】					
1	カード区分	X	1	1	固定で「4」をセットする。
2	FILLER	X	1	1	半角スペース。
3	奨学生処理番号CD	X	1	1	
4	奨学生処理番号	X	11	11	リスト形式奨学生処理番号
5	FILLER	X	1	1	半角スペース。
6	請求対象者コード	X	1	1	
7	請求書作成年月日	X	6	6	
8	予備	X	1	1	
9	繰上返還種別	X	1	1	固定で「0」をセットする。
10	FILLER	X	3	3	フル桁半角スペース。
11	繰上返還年数	X	1	1	固定で「0」をセットする。
12	入金額CD	X	1	1	半角スペース。
13	FILLER	X	1	1	半角スペース。
14	返還入金額	X	8	8	右寄せで半角前スペース。
15	FILLER	X	1	1	半角スペース。
16	入金年月日	X	6	6	和暦で年、月、日が1桁のときは、それぞれ半角前スペース
17	FILLER	X	1	1	半角スペース。
18	払込人カナ氏名	X	30	30	左寄せ、姓と名の間は1桁半角スペースをあげ、後ろは半角スペース。
19	FILLER	X	324	324	フル桁半角スペース。
			合計	400	バイト

独立行政法人日本学生支援機構 御中

〇〇債権回収株式会社

下記書類をお送り致しますので宜しくご査収の程、お願い申し上げます。

種別	延滞状況	作成処理日
区分	201304A	2013年4月1日
	当社入金	貴社入金
件数		
回収金額		
合計件数		
合計金額		

入金者一覧

区分	奨学生番号	本人氏名	払込人氏名	入金額	入金日	処理日
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
件数	0	合計金額		0		

入金異動メモデータ(機構→委託業者)

項番	項目	属性	BYTE数	桁数	備考
1	リスト奨学生キー番号	X	11	11	
2	区切り	X	1	1	
3	リスト処理奨学生番号	X	11	11	
4	区切り	X	1	1	
5	処理奨学生番号CD	X	1	1	
6	区切り	X	1	1	
7	本人カナ氏名	X	30	30	
8	区切り	X	1	1	
9	本人漢字氏名	N	10	20	
10	区切り	X	1	1	
11	入金年月日	X	8	8	
12	区切り	X	1	1	
13	入金額	X	9	9	
14	区切り	X	1	1	
15	同時収納仮受金	X	9	9	
16	区切り	X	1	1	
17	元金充当額	X	9	9	
18	区切り	X	1	1	
19	利息充当額	X	9	9	
20	区切り	X	1	1	
21	延滞金充当額	X	9	9	
22	区切り	X	1	1	
23	支払督促申立費用充当額	X	9	9	
24	区切り	X	1	1	
25	仮宣申立費用充当額	X	9	9	
26	区切り	X	1	1	
27	強制執行申立費用充当額	X	9	9	
28	区切り	X	1	1	
29	その他費用充当額	X	9	9	
30	区切り	X	1	1	
31	入金仮受金額	X	9	9	
32	区切り	X	1	1	
33	異動種別	X	3	3	
34	区切り	X	1	1	
35	メモ機械処理年月日	X	8	8	学種メモ登録年月日が設定される。
36	区切り	X	1	1	
37	メモ同一日内通番	X	2	2	学種メモ登録日内通番を設定する。
38	区切り	X	1	1	
39	折衝内容(大項目)	N	15	30	新折衝内容コードの上2桁。コード情報TBLの「コード内容略称」から取得する。
40	区切り	X	1	1	
41	折衝内容(小項目)	N	15	30	新折衝内容コードの下2桁。コード情報TBLの「コード内容略称」から取得する。
42	区切り	X	1	1	
43	相手	N	15	30	コード情報TBLの「コード内容略称」から取得する。
44	区切り	X	1	1	
45	方法	N	15	30	コード情報TBLの「コード内容略称」から取得する。

46	区切り	X	1	1	
47	優先表示区分	X	1	1	
48	区切り	X	1	1	
49	メモ内容	N	500	1000	学種メモ内容を設定する。
50	区切り	X	1	1	
51	機械奨学生キー番号	X	11	11	
52	区切り	X	1	1	
53	機械処理奨学生番号	X	11	11	
54	区切り	X	1	1	
55	機械処理年月日	X	8	8	
56	区切り	X	1	1	
57	仮受番号	X	15	15	
58	区切り	X	1	1	
59	返還期日収納区分	X	1	1	
60	区切り	X	1	1	
61	グループID	X	7	7	
62	区切り	X	1	1	
63	改行	X	1	1	
			合計	1390	バイト

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	ファイル仕様書	作成者: I-SYSTEM	作成日: 2015/03/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還
------	---	-----	----

ファイルID		ファイル名	返還残額データ作成(和解)
--------	--	-------	---------------

項番	レベル	出力項目名	属性	桁数	項目内容	備考
1	01	回収委託業者用振分				
2	03	キー奨学生番号	X	11	キー奨学生番号	回収委託情報
3	03	奨学生処理番号	X	11	処理奨学生番号	回収委託情報
4	03	奨学生処理番号CD	X	01	処理奨学生番号CD	回収委託情報
5	03	奨学生カナ氏名	X	30	本人カナ氏名	回収委託情報
6	03	奨学生漢字氏名	N	10	本人漢字氏名	回収委託情報
7	03	奨学生生年月日	X	08	本人生年月日	回収委託情報
8	03	学校漢字名称	N	30	学校名称	回収委託情報
9	03	学校課程名称	N	06	学校課程名称	回収委託情報
10	03	本人住所指定コード	X	11	本人住所指定コード	回収委託情報
11	03	奨学生郵便番号	X	07	本人郵便番号	回収委託情報
12	03	奨学生漢字住所	N	50	本人漢字住所	回収委託情報
13	03	奨学生漢字補助住所	N	50	本人漢字補助住所	回収委託情報
14	03	奨学生電話番号	X	17	本人電話番号	回収委託情報
15	03	奨学生携帯電話番号	X	20	携帯電話番号	回収委託情報
16	03	本人勤務先漢字名称	N	30	本人勤務先	回収委託情報
17	03	本人勤務先電話番号	X	17	本人勤務先電話番号	回収委託情報
18	03	割賦金	9	09	次回割賦金	和解返還者情報
19	03	割賦金併用	9	09	-	-
20	03	請求金額	9	09	和解後返還請求額編集サブ出力 I / F の請求金額を転記する	H Z K F 1 0
21	03	請求金額内訳元金	9	09	和解後返還請求額編集サブ出力 I / F の請求金額内訳元金を転記する	H Z K F 1 0
22	03	請求金額内訳元金併用	9	09	固定で0を設定する	-
23	03	請求金額内訳利息	9	09	和解後返還請求額編集サブ出力 I / F の請求金額内訳利息を転記する	H Z K F 1 0
24	03	請求金額内訳利息併用	9	09	固定で0を設定する	-
25	03	請求金額内訳延滞金	9	09	固定で0を設定する	-

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	ファイル仕様書	作成者: I-SYSTEM	作成日: 2015/03/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還
------	---	-----	----

ファイルID		ファイル名	返還残額データ作成(和解)
--------	--	-------	---------------

項番	レベル	出力項目名	属性	桁数	項目内容	備考
26	03	請求金額内訳延滞金併用	9	09	固定で0を設定する	—
27	03	連保人カナ氏名	X	30	連帯保証人カナ氏名	回収委託情報
28	03	連保人漢字氏名	N	10	連帯保証人漢字氏名	回収委託情報
29	03	連保人生年月日	X	08	連帯保証人生年月日	回収委託情報
30	03	連保人続柄	X	01	連帯保証人続柄	回収委託情報
31	03	連保人郵便番号	X	07	連帯保証人郵便番号	回収委託情報
32	03	連保人漢字住所	N	50	連帯保証人漢字住所	回収委託情報
33	03	連保人漢字補助住所	N	50	連帯保証人漢字補助住所	回収委託情報
34	03	連保人自宅電話番号	X	17	連帯保証人電話番号	回収委託情報
35	03	保証人カナ氏名	X	30	保証人カナ氏名	回収委託情報
36	03	保証人漢字氏名	N	10	保証人漢字氏名	回収委託情報
37	03	保証人生年月日	X	08	保証人生年月日	回収委託情報
38	03	保証人続柄	X	01	保証人続柄	回収委託情報
39	03	保証人郵便番号	X	07	保証人郵便番号	回収委託情報
40	03	保証人漢字住所	N	50	保証人漢字住所	回収委託情報
41	03	保証人漢字補助住所	N	50	保証人漢字補助住所	回収委託情報
42	03	保証人自宅電話番号	X	17	保証人電話番号	回収委託情報
43	03	担当課	N	30	担当課	回収委託情報
44	03	担当課電話番号ナビ	X	17	担当課電話番号ナビ	回収委託情報
45	03	担当課電話番号直通	X	17	担当課電話番号担当	回収委託情報
46	03	作成年月日	X	08	作成年月日	回収委託情報
47	03	連保人住所状態コード	X	01	連保人住所状態コード	回収委託情報
48	03	連保人状態コード	X	01	連保人状態コード	回収委託情報
49	03	連保人破産コード	X	01	連保人破産コード	回収委託情報
50	03	保証人住所状態コード	X	01	保証人住所状態コード	回収委託情報

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	ファイル仕様書	作成者: I-SYSTEM	作成日: 2015/03/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還
------	---	-----	----

ファイルID		ファイル名	返還残額データ作成(和解)
--------	--	-------	---------------

項番	レベル	出力項目名	属性	桁数	項目内容	備考
51	03	保証人状態コード	X	01	保証人状態コード	回収委託情報
52	03	保証人破産コード	X	01	保証人破産コード	回収委託情報
53	03	請求書金額算出年月日	X	08	請求金額算出年月日	回収委託情報
54	03	学種状態コード	X	03	学種状態コード	回収委託情報
55	03	返還次回年月	X	06	返還次回年月	回収委託情報
56	03	返還次回年月 1	X	06	返還次回年月 1	回収委託情報
57	03	返還次回年月 2	X	06	返還次回年月 2	回収委託情報
58	03	貸与始期年月	X	06	貸与始期年月	回収委託情報
59	03	貸与終期年月	X	06	貸与終期年月	回収委託情報
60	03	本人住所状態コード	X	01	本人住所状態コード	回収委託情報
61	03	本人状態コード	X	01	本人状態コード	回収委託情報
62	03	奨学生破産コード	X	01	本人破産コード	回収委託情報
63	03	口座状態コード	X	02	口座状態コード	回収委託情報
64	03	機械キー奨学生番号	X	11	機械キー奨学生番号	回収委託情報
65	03	機械処理奨学生番号	X	11	機械処理奨学生番号	回収委託情報
66	03	仮受金合計額	9	09	仮受金合計額	回収委託情報
67	03	最新請求書類作成年月日	X	08	最新請求書類作成日	回収委託情報
68	03	住所氏名異動年月日	X	08	住所氏名異動年月日	回収委託情報
69	03	最新入金年月日	X	08	最新入金年月日	回収委託情報
70	03	最新入金額	9	09	最新入金額	回収委託情報
71	03	貸与総額	9	09	貸与総額	回収委託情報
72	03	年利率	X	10	年利率	回収委託情報
73	03	返還残元金	9	09	返還残元金	回収委託情報
74	03	延滞金利率	X	02	延滞金利率	回収委託情報
75	03	返還誓約書状態コード	X	01	返還誓約書状態コード	回収委託情報

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	ファイル仕様書	作成者: I-SYSTEM	作成日: 2015/03/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還
------	---	-----	----

ファイルID		ファイル名	返還残額データ作成(和解)
--------	--	-------	---------------

項番	レベル	出力項目名	属性	桁数	項目内容	備考
76	03	機関保証区分	X	01	機関保証区分	回収委託情報
77	03	奨学生性別コード	X	01	奨学生性別コード	回収委託情報
78	03	グループID	X	07	グループID	回収委託情報
79	03	ファイル形式区分	X	01	転記する	ファイル形式区分
80	03	ファイル拡張子区分	X	01	転記する	ファイル拡張子区分
81	03	回収委託業者コード	X	06	転記する	回収委託情報
82	03	回収委託経緯区分	X	01	転記する	回収委託情報
83	03	債権発生時の利率	X	04	固定でスペースを設定する	—
84	03	現在の延滞金利率	X	04	固定でスペースを設定する	—
85	03	延滞金内訳月賦	—	—	—	—
86	05	低減延滞金利率適用	X	01	固定でスペースを設定する	—
87	05	低減延滞金利率適用期限	X	08	固定でスペースを設定する	—
88	05	延滞金利率1	X	04	固定でスペースを設定する	—
89	05	延滞金利率1適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
90	05	延滞金利率1適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
91	05	請求金額内訳延滞金利率1	X	09	固定でスペースを設定する	—
92	05	延滞金利率2	X	04	固定でスペースを設定する	—
93	05	延滞金利率2適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
94	05	延滞金利率2適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
95	05	請求金額内訳延滞金利率2	X	09	固定でスペースを設定する	—
96	05	延滞金利率3	X	04	固定でスペースを設定する	—
97	05	延滞金利率3適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
98	05	延滞金利率3適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
99	05	請求金額内訳延滞金利率3	X	09	固定でスペースを設定する	—
100	05	延滞金利率4	X	04	固定でスペースを設定する	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	ファイル仕様書	作成者: I-SYSTEM	作成日: 2015/03/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還
------	---	-----	----

ファイルID		ファイル名	返還残額データ作成(和解)
--------	--	-------	---------------

項番	レベル	出力項目名	属性	桁数	項目内容	備考
101	05	延滞金利率4適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
102	05	延滞金利率4適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
103	05	請求金額内訳延滞金利率4	X	09	固定でスペースを設定する	—
104	05	延滞金利率5	X	04	固定でスペースを設定する	—
105	05	延滞金利率5適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
106	05	延滞金利率5適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
107	05	請求金額内訳延滞金利率5	X	09	固定でスペースを設定する	—
108	03	延滞金内訳半年賦.	—	—	—	—
109	05	低減延滞金利率適用	X	01	固定でスペースを設定する	—
110	05	低減延滞金利率適用期限	X	08	固定でスペースを設定する	—
111	05	延滞金利率1	X	04	固定でスペースを設定する	—
112	05	延滞金利率1適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
113	05	延滞金利率1適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
114	05	請求金額内訳延滞金利率1	X	09	固定でスペースを設定する	—
115	05	延滞金利率2	X	04	固定でスペースを設定する	—
116	05	延滞金利率2適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
117	05	延滞金利率2適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
118	05	請求金額内訳延滞金利率2	X	09	固定でスペースを設定する	—
119	05	延滞金利率3	X	04	固定でスペースを設定する	—
120	05	延滞金利率3適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
121	05	延滞金利率3適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
122	05	請求金額内訳延滞金利率3	X	09	固定でスペースを設定する	—
123	05	延滞金利率4	X	04	固定でスペースを設定する	—
124	05	延滞金利率4適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
125	05	延滞金利率4適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—

システム名	名称	更新情報	
奨学金業務システム	ファイル仕様書	作成者:I-SYSTEM	作成日:2015/03/30
		更新者:	更新日:

業務ID	H	業務名	返還
------	---	-----	----

ファイルID		ファイル名	返還残額データ作成(和解)
--------	--	-------	---------------

項番	レベル	出力項目名	属性	桁数	項目内容	備考
126	05	請求金額内訳延滞金利率	X	09	固定でスペースを設定する	—
127	05	延滞金利率 5	X	04	固定でスペースを設定する	—
128	05	延滞金利率 5 適用始期	X	08	固定でスペースを設定する	—
129	05	延滞金利率 5 適用終期	X	08	固定でスペースを設定する	—
130	05	請求金額内訳延滞金利率	X	09	固定でスペースを設定する	—
130	05	OS2-請求金額内訳費用	X	09	和解後返還請求額編集サブ出力 I / F の請求金額内訳費用を転記する	HZKF10

結果データフォーマット

項番	項目	属性	桁数	備考
1	架電結果データ	-	-	
2	担当者コード	X	4	
3	リスト奨学生処理番号	-	-	
4	貸与種別コード	X	1	
5	奨学生採用年度	X	2	
6	奨学生学種コード	X	2	
7	奨学生通し番号	X	6	
8	交渉記録	-	-	交渉記録 繰り返し(6)
9	交渉年月日	X	8	
10	交渉時分秒	-	-	
11	交渉HH	X	2	
12	ピリオド1	X	1	
13	交渉MM	X	2	
14	ピリオド2	X	1	
15	交渉DD	X	2	
16	電話先コード	X	2	
17	相手先コード	X	2	
18	折衝内容コード	X	3	
19	記事	N	430	桁数変更
20	入金約束額	X	9	
21	入金約束年月日	X	8	
22	本人事由	-	-	
23	情報有無	X	1	
24	処理年月日	X	8	
25	本人事由滞納状況A	-	-	
26	予備	X	1	
27	滞納状況A	X	2	
28	本人事由滞納状況B	-	-	
29	予備	X	1	
30	滞納状況B	X	2	
31	予備	X	3	
32	本人事由その他	-	-	
33	予備	X	1	
34	その他の事由	X	2	
35	本人事由本人職業	-	-	
36	予備	X	1	
37	本人の職業	X	2	
38	本人事由本人収入	-	-	
39	予備	X	1	
40	本人の収入	X	2	
41	予備	X	34	

		コード	名称		コード	名称
1	担当者コード	0080	回収委託	注: 記事には 交渉コード の名称を 入力しない こと。交渉 コードのみを 入力してく ださい。本 機構で交 渉コードを文 字変換す るため。	108	本人携帯電話番号変更
2	電話先コード 注:11・30以 外は必ず前 にZEROが 必要	01	本人自宅		109	連保人宅電話番号変更
		02	勤務先		110	保証人宅電話番号変更
		03	連帯保証人宅		112	勤務先電話番号変更
		04	保証人宅		150	外出・不在・離席
		11	携帯電話		152	本人が退職
		30	受電		153	本人が転勤
		90	その他		154	本人が出向
3	相手先コード 注:1~9ま では必ず前 にZEROが 必要	01	本人		155	本人が休職
		02	父		156	休暇中
		03	母		157	本人に連絡がとれず
		04	夫		158	在籍なし
		05	妻		160	架電中止
		06	祖父		198	在学中
		07	祖母		199	返還困難
		08	義父		200	猶予指導(経済困難)
		09	義母		201	猶予指導(失業中)
		20	兄弟		202	猶予指導(生活保護)
		21	姉妹		203	猶予指導(病気)
		34	その他		204	猶予指導(災害)
		40	勤務先のもの		205	猶予指導(在学留年)
		92	連保人		206	猶予指導(入学準備)
		93	保証人		207	猶予指導(各種学校)
4	折衝内容コード	002	入金約束		208	猶予指導(研究生等)
		004	入金済み		209	猶予指導(外国へ)
		005	分割返還を約束		210	猶予指導(青年海外)
		012	返還の約束が得られず		211	猶予指導(その他)
		013	本人は別住所に居住		215	猶予願提出済
		018	応答者に伝言		250	本人死亡
		041	訪問の実施		251	本人心身障害
		101	留守電(返電依頼)		252	外国に居住
		102	留守電(吹込みなし)		253	本人行方不明
		103	応答なし		254	本人消息不明
		104	お客様の都合により		266	本人住所変更
		105	電話が使われていない		267	連保人住所変更
		106	電話番号が間違っている		500	その他
		107	本人自宅電話番号変更		511	請求文書発送

※コードについては、加除の可能性がある。

サブ業務:回収委託			ファイル名:住所変更データ		
No.	項目名	属性	桁数	BYTE数	備考
■【ヘッダー】					
1	カード区分	X	1	1	「5」をセットする。
2	種別	X	1	1	「7」をセットする。
3	データ細分	X	1	1	「0」をセットする。
4	バッチ処理部署コード	X	4	4	「0461」をセットする。
5	バッチ処理番号通番	X	4	4	4桁に満たないときは半角前スペース。
6	バッチ内住所関係変更届件数	X	3	3	上限100とする。3桁に満たないときは半角前スペース。
7	FILLER	X	606	606	フル桁半角スペース。
			合計	620	
■【データ】					
1	カード区分	X	1	1	「6」をセットする。
2	データ種別	X	3	3	512(本人)、522(連保人)、532(保証人)、5A2(親権者1)、5B2(親権者2)、5C2(その他連絡先)のいずれかをセットする。
3	奨学生処理番号	X	11	11	リスト形式奨学生処理番号をセットする。
4	奨学生処理番号CD	X	1	1	常に半角スペース。
5	提出日	X	8	8	年は西暦4桁。月、日がそれぞれ1桁のときは、半角前スペース。
6	カナ氏名	X	30	30	左詰め、姓と名の間は1桁半角スペースをあける。後ろは半角スペース。カナは小文字不可。(小さなヤユヨなどは大文字で)
7	カナ旧姓	X	5	5	《改氏名》の時のみ、セットすること。(カナ旧姓セットした場合は、「項番9 新漢字氏名」もセットすること。記入されているとき、左詰めでセットする。5桁未満のときは、後ろ半角スペース。無記入のときは半角スペース。(小さなヤユヨなどは大文字で)
8	新漢字氏名	N	10	20	《改氏名》の時のみ、セットすること。(新漢字氏名をセットした場合は、「項番8 カナ旧姓」もセットすること。左詰めで、姓と名の間は1桁全角スペースをあける。後ろは全角スペース。無記入のときは半角スペース。
9	FILLER	X	40	40	フル桁半角スペース。
10	郵便番号	X	7	7	左詰め。7桁未満のときは、後ろ半角スペース。ハイフンはセットしない。無記入のときは半角スペース。
11	漢字住所	N	100	200	左詰め。都道府県、郡市区町村等の区切りは、全角スペースをあけない。後ろは全角スペース。無記入のときは、全角スペース。
12	電話番号	X	17	17	左詰め。後ろ半角スペース。市外局番、局番、通番号の間の「- (ハイフン)」もセットする。無記入のときは半角スペース。
13	FILLER	X	3	3	フル桁半角スペース。
14	携帯電話番号	X	20	20	左詰め。後ろ半角スペース。記入どおりセットする。無記入のときは半角スペース。 【注】すべてのデータ種別でセット可能。
15	Eメールアドレス	X	80	80	左詰め。後ろ半角スペース。アルファベットは半角大文字、半角小文字の記入どおりセットする。無記入のときは半角スペース。 【注】512(本人)以外では常にフル桁半角スペース。
16	FILLER	X	40	40	フル桁半角スペース。
17	勤務先名(漢字)	N	30	60	左詰め。後ろは全角スペース。無記入のときは全角スペース。30桁におさまらなかった場合は、左から30桁のみをセットする。 【注】すべてのデータ種別でセット可能。
18	FILLER	X	40	40	フル桁半角スペース。
19	勤務先電話番号	X	17	17	左詰め。後ろ半角スペース。市外局番、局番、通番号の間の「- (ハイフン)」もセットする。無記入のときは半角スペース。 【注】すべてのデータ種別でセット可能。
20	予備	X	17	17	フル桁半角スペース。
			合計	620	バイト

ヘッダー必須項目

NO. 1~6
必須項目NO. 7~19
必要項目のみ記入。無記入部分はスペースで。
NO. 20

電話不使用リスト

【最適化】					備 考
No.	項目名	属性	桁数	BYTE数	
1	電話番号削除データ	-	-		
2	リスト奨学生キー番号	X	11	11	
3	リスト奨学生処理番号	X	11	11	
4	奨学生カナ氏名	X	30	30	
5	奨学生漢字氏名	N	20	40	
6	架電先コード	X	2	2	
7	折衝内容コード	X	3	3	現行のコード(不使用(105)、番号違い(106)、退職(152)、在籍なし(158))をセット。
8	電話番号	X	20	20	
合計					117 バイト

架電先コード

コード値	コード内容
01	本人自宅
02	勤務先
03	連帯保証人宅
04	保証人宅
06	口座名義人宅
10	連帯保証人勤務先
11	本人携帯電話
13	連帯保証人携帯電話
14	保証人携帯電話
15	口座名義人携帯電話
16	保証人勤務先
17	口座名義人勤務先
30	受電
81	その他連絡先宅
82	その他連絡先の携帯電話
83	その他連絡先の勤務先
84	親権者1宅
85	親権者1の携帯電話
86	親権者1の勤務先
87	親権者2宅
88	親権者2の携帯電話
89	親権者2の勤務先
90	その他

返戻者リスト

別紙8

平成 年 月 日報告

債権情報				返戻対象者			
キー処理奨学生番号	処理奨学生番号(リスト形式)	処理奨学生番号(機械形式)	奨学生氏名	奨学生	連帯保証人	保証人	委託開始月

※エクセルデータで提出。

日本学生支援機構 法務課 御中

回収委託業務連絡票

会社名:〇〇債権回収株式会社

急ぎの場合は、文頭に「至急」「大至急」と記入すること

通番	折衝日	受電・架電	グループID	処理奨学生番号	奨学生漢字氏名	奨学生カナ氏名	会話相手	報告内容	送付先住所	送付先宛名	連絡先電話番号
例 1	2017/3/27	架電	201701V	61204999999	機構 太郎	キコウ タロウ	本人	本日委託額全額入金約束。その後の返還について口座振替希望。口座申込用紙送付願います。	本人住所	本人宛	—
2											
3											
4											
5											
6											

通番は一月単位とすること

死亡は、別途報告すること。

記入日：平成 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

事 情 書

奨学生番号 _____ 奨学生氏名 _____ ㊞

住所 〒 _____
(アパート・マンションにお住まいの方は、アパート名、マンション名、部屋番号まで記入してください。)

Tel _____ 携帯Tel _____

勤務先名 _____ Tel _____

勤務先住所 〒 _____

連帯保証人氏名 _____ Tel _____

* ご登録時の連帯保証人は、 _____ 様です。ご変更がない場合もご記入ください。
変更される場合は変更届が必要ですので担当者までお問合せ下さい。連帯保証人住所 〒 _____
(アパート・マンションにお住まいの方は、アパート名、マンション名、部屋番号まで記入してください。)

連帯保証人勤務先名 _____ Tel _____

1ヶ月平均収入金額 (円)	主な収入源

※これまで奨学金の返還を延滞してしまった事情、現在の経済状況等を詳しく記載してください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(裏面に続く)

A series of horizontal dashed lines for writing.

平成 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構 御中

〇〇債権回収株式会社

業務終了報告書

平成 年 月 日付「 」に基づき、平成 年 月受託分の回収
委託業務を完了いたしましたので、ご報告します。

記

平成 年 月実施回収委託内訳
業務実施期間 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日

委託対象件数 _____ 件

① 委託対象 _____ 件

② 延滞解消 _____ 件

③ 事情書送付件数 _____ 件

※①～③の対象は、別紙のとおり。

以 上

委託対象者リスト

平成 年 月委託分

キー処理奨学生番号	処理奨学生番号(リスト形式)	処理奨学生番号(機械形式)	奨学生氏名	委託中止	延滞解消	事情書送付	延滞未解消	入金約束	備考

※エクセルデータで提出。

※委託中止～入金約束の各項目に該当する場合は「○」を記入すること。

平成 29 年度・平成 30 年度 延滞債権（和解者）回収業務の委託に
係る企画提案書作成要領

独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）は、「債権回収会社に対する延滞債権（和解者）回収業務の委託」を実施するにあたり、本作成要領の定めるところにより企画提案書を募集し、業務を委託する者の選定を行う。

1. 委託内容

債権回収会社に対する延滞債権（和解者）回収業務

2. 実施期間

平成 29 年 10 月 ～ 平成 31 年 6 月

3. 企画提案書の作成

(1) 企画提案書（別紙様式による。）

表題は『「平成 29 年度・平成 30 年度 延滞債権（和解者）回収業務」企画提案書』とすること。

また、企画提案書の作成にあたっては以下の事項を記載すること。

①企画提案書要約（別紙様式 1）

②延滞債権回収業務実施実績（別紙様式 2）

行政サービス及び貸与奨学金の回収等、利益目的では無い類似の事業における回収実績（当機構の債権回収業務の取扱実績がある場合は、当該業務内容・取扱期間・回収実績）

③業務実施体制（別紙様式 3）

ア 業務の実施管理体制（受電、架電を踏まえたものであること）

イ 業務別・役職別人員数

ウ 電話督促等における音声交渉記録の記録及び管理

④延滞債権回収業務サービス内容（別紙様式 4）

ア 実施方法

 a. 督促方法（受電、架電、督促文書等）

 b. 督促スケジュール

イ 法的処理の理解について

 ・対応人員の教育方法等

ウ 督促等により生じる諸作業が、機構の業務量増とならないために講じる対策

エ 適正な業務処理の確保及び状況の報告体制

⑤個人情報保護・コンプライアンス体制状況（別紙様式 5）

ア 個人情報保護体制

イ コンプライアンス体制

⑥概算見積書（別紙様式 6）

ア 報酬額等の概算額

※企画提案書の各事項には、必要に応じ、説明資料を添付することができる。

「平成 29 年度・平成 30 年度

延滞債権(和解者)回収業務」

企画提案書

会社名

印

「平成 29 年度・平成 30 年度延滞債権(和解者)回収業務」

企画提案書要約

平成 29 年 月 日

会社名	
連絡先	部署名 電話 ファクシミリ Eメール 担当者氏名
業務実績	(1) (2) (3)
業務体制の概要	
業務の概要 (サービス概要)	
個人情報保護 コンプライアンス体制の概要	
概算見積金額	

1. 延滞債権回収業務実施実績

(1)

事業名称	
契約期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
実施経費	円(概算)
対象件数 ・金額	件 円
実施概要	

(2)

事業名称	
契約期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
実施経費	円(概算)
対象件数 ・金額	件 円
実施概要	

(3)

事業名称	
契約期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
実施経費	円(概算)
対象件数 ・金額	件 円
実施概要	

2. 業務実施体制

(1) 業務の実施・管理体制

(2) 業務別・役職別人員数

(3) 電話督促等における音声交渉記録の記録及び管理方法・保存期間

(4) その他

3. 延滞債権回収業務サービス内容

(1) サービスの特性を生かした受電及び架電実施方法

a. 督促方法(督促文書等, 架電, 受電)

b. 督促スケジュール

(2) 機構奨学金の返還制度及び法的処理の理解に基づく適切な指導

(3) 督促等により生じる諸作業が、機構の業務量増とならないために講じる対策

(4) 適正な業務処理の確保及び状況の報告体制

4. 個人情報保護・コンプライアンス体制状況

(1)個人情報保護体制について

(2)コンプライアンス体制について

(3)その他

5. 概算見積書

(1) 基礎額

項目 (サービス内容)	件数	単価	費用 (税別)	備考
① 委託単価(1債権当たり)※	12,950 件	円	円	
② 事情書の送付	9 件	円	円	
合 計 (税 別)			円	

※ 委託期間(最大4カ月)についての単価。

(2) 架電結果効果に係る額

(1)のうち、延滞解消となったものに対する報酬額

①延滞解消 件数 ^{※1}	②報酬単価 ^{※2}	③報酬額 ^{※3}	備考
件	円	円	

※1 委託期間中の各月の支払期限後、翌月初旬の請求額の洗い替えまで、当該請求額の返還が確認できたものを延滞解消とする。件数は、提案者の見込で記載してください。(機構の推計では、委託当初の件数に対し、80%程度が延滞解消となると見込んでいます。)

※2 (1)①委託単価の額の範囲内で、延滞解消一件に対する報酬額を記載してください。

※3 ①×②

(3) 費用総額

(1) 計	円	
(2) 計	円	
合 計	円 × 1.08 =	円

平成 29 年度・平成 30 年度延滞債権（和解者）回収業務の委託に係る審査基準

1. 業務実績への評価（5点）

①機構の奨学金債権や類似の債権回収業務の取扱実績・回収実績について

2. 業務に対する実施体制への評価（5点）

①十分な実施体制が予定されているか。

・受電の応答体制が十分にとられているか。また要返還者等と折衝するための架電を十分に行える体制となっているか。（フリーダイヤルの設置等）。さらに、委託期間中電話督促等による音声交渉記録が適切に用意され、求めに応じ開示するための体制がとられているか。

3. 業務の実施方法について（計20点（各5点））

①サービスの特性を活かし、督促文書の発送、督促架電が効率的な計画により十分に実施され、延滞解消に繋がるような内容となっているか。

②機構奨学金の返還制度及び法的処理を十分に理解し、要返還者の状態に応じた適切な指導を行えるものとなっているか。

③督促等により生じる諸作業が、機構の業務量増とならないために十分な対策を講じているか。

④適正な業務処理の確保及び状況の報告体制が整備されているか。

4. 個人情報保護・コンプライアンス体制について（5点）

①個人情報保護・コンプライアンス体制が整備されているか。

5. 実施経費について（計15点（①は10点、②は5点））

①実施経費は実施内容に見合った適切なものか。

②実施経費の算定にあたっては、機構が提示した折衝内容等をしっかりと踏まえたものになっているか。

